

伊平屋空港のパブリック・インボルブメント
(ステップ2)

実施記録

平成20年5月

伊平屋空港協議会

目 次

はじめに

(頁)

I. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）の実施結果の概要	
1. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメントの実施スケジュール	1
2. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）の実施結果の概要	3
II. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）実施報告書	
1. P I 活動（ステップ2）の実施状況	5
(1) P I 活動（ステップ2）の実施対象者	5
(2) P I 活動（ステップ2）の実施計画	6
(3) P I 活動（ステップ2）の実施状況	7
2. 寄せられた意見の分析	11
(1) 分析方法	11
(2) 分析結果	14
3. P I 活動（ステップ2）の評価	24
(1) 評価方法	24
(2) P I 活動の評価	25
(3) P I 活動の総合評価	29
III. P I 評価委員会	
1. 開催状況	30
2. 伊平屋空港P I 評価委員及びP I 評価委員会規約	32
IV. P I（ステップ2）の終了について	
伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）の終了について	34
V. 今後の取組みについて	
今後の取組みについて	35
参考資料	
パンフレット「伊平屋空港の調査報告書2」	A-1
写真でみるP I 活動の記録	A-8

はじめに

伊平屋・伊是名村は沖縄本島那覇市の北、約 100km に位置する離島村であり、沖縄本島との交通手段は両村がそれぞれ本島北部今帰仁村にある運天港との間に運航しているフェリーが主に担っています。しかし、現在の海上及び陸上交通による那覇市までの移動には片道約 4 時間を要するほか、荒天によるフェリーの欠航により、住民生活に影響を及ぼしています。

そのため、両村では本土復帰当時から沖縄県等に対して空港整備に向けた要請活動を行ってきたほか、空港整備に向けた独自の検討も行われ、また、沖縄県においても、離島における生活利便性の向上と観光や産業振興の観点から、同地域における空港整備の検討が行われてきました。

空港の建設候補地については、こうしたこれまでの検討の経緯や両村との話し合いにより、平成 12 年 3 月の伊平屋空港基本計画策定委員会の審議を経て、伊平屋村の野甫島を候補地として検討が進められることになりました。

これらを踏まえ、平成 17 年 11 月 24 日、沖縄県・伊是名村・伊平屋村は「伊平屋空港協議会」を設立し、今後、空港整備計画等について、協議会の場において三者で協議しながら進めていく方針を定めました。また、整備計画を進めるにあたっては、計画の段階から県民等に対して積極的に情報を提供し、広くご意見を収集するなどの住民参画の手法（パブリックインボルブメント：P I）を取り入れ、皆さまのご意見を伺いながら検討を進めることとしました。

こうして、平成 18 年度には「伊平屋空港整備の必要性、空港整備による効果や影響、候補地及び航空旅客数の予測等」について意見を伺うステップ 1 を実施しました。

引き続き、平成 19 年度は P I の最終段階として「伊平屋空港の整備計画の内容とその妥当性等」について意見を伺うステップ 2 を実施しました。

本冊子は、伊平屋空港 P I 評価委員会の評価・助言を受けて、伊平屋空港 P I（ステップ 2）の実施記録をとりまとめたものです。

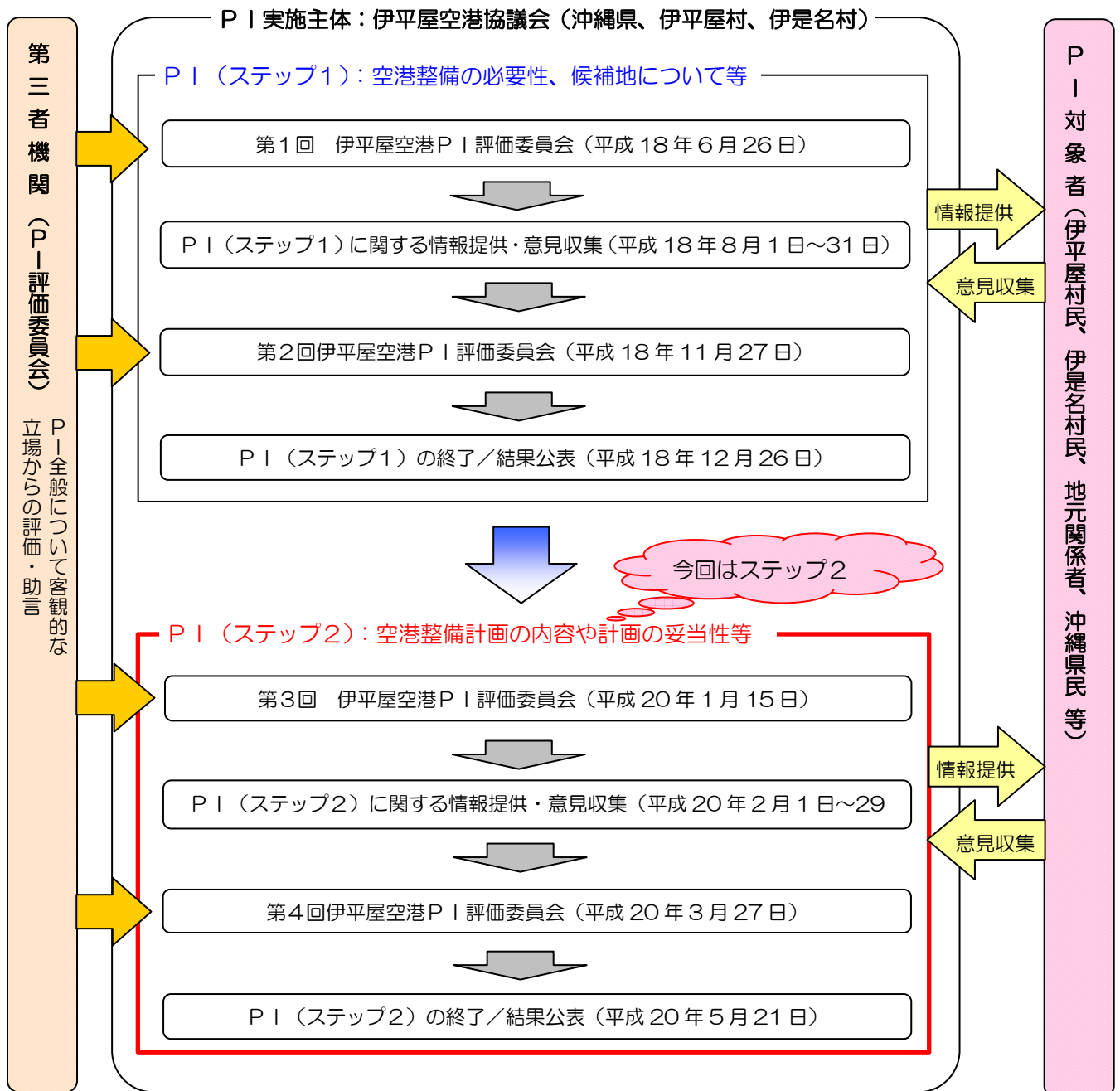
平成 20 年 5 月
伊平屋空港協議会

I. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）の実施結果の概要

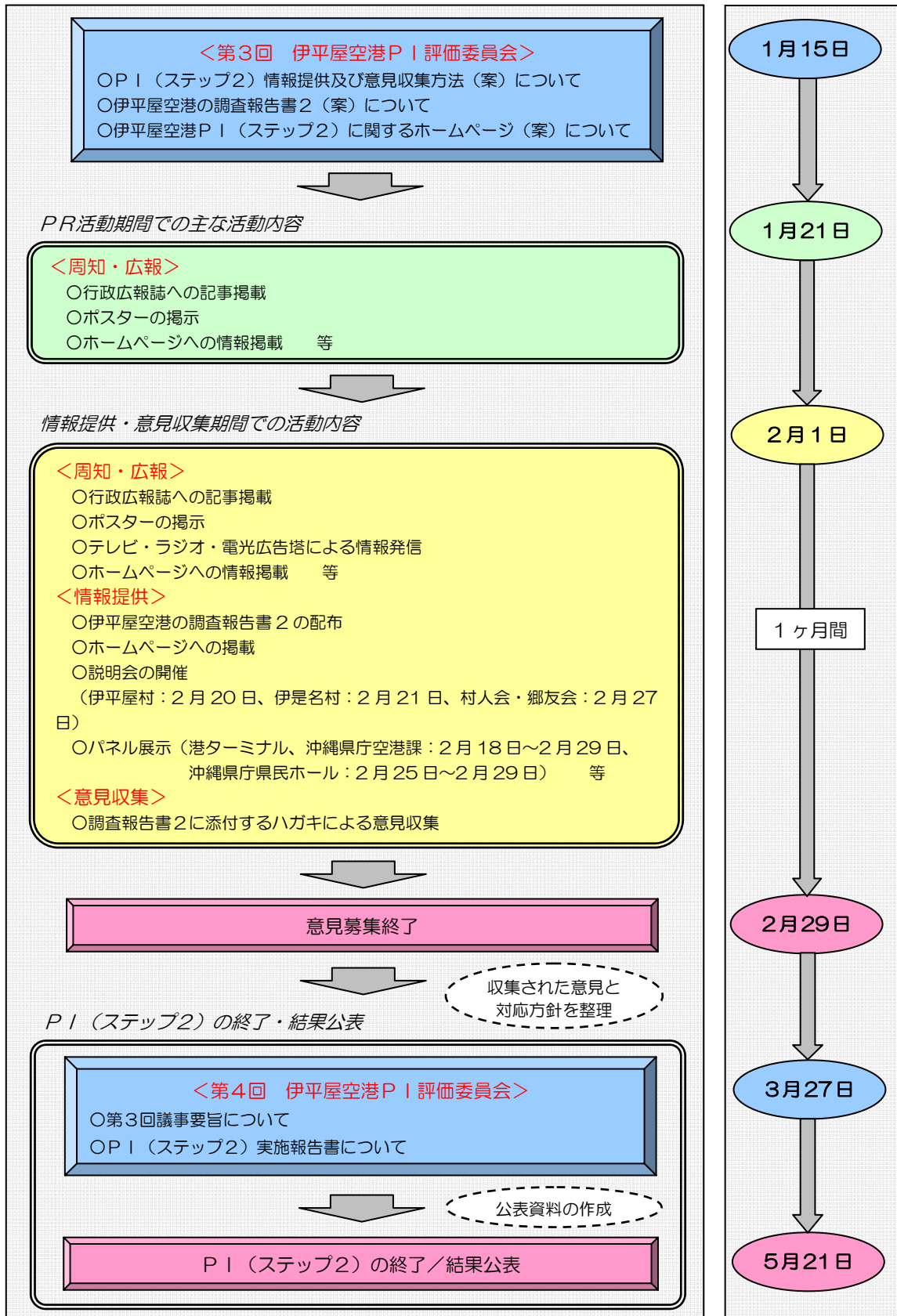
1. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）の実施スケジュール

伊平屋空港のP Iは、平成 18 年度より 2 ヶ年度にわたり、2 つのステップで実施しました。平成 18 年度は「空港整備の必要性等」について意見を伺うステップ1を実施し、平成 19 年度は「空港整備計画の内容とその妥当性等」について意見を伺うステップ2を実施しました。

全体スケジュール



ステップ2のスケジュール



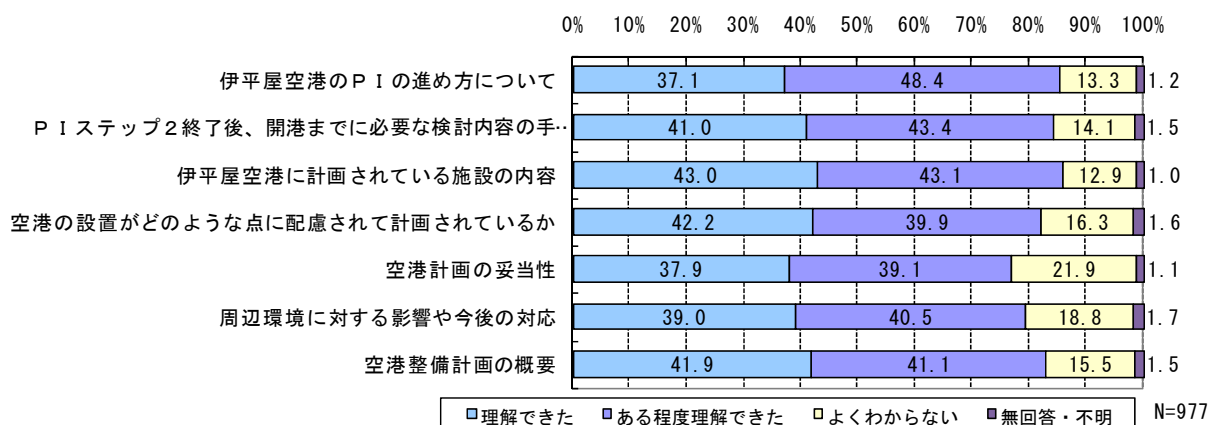
2. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）の実施結果の概要

平成20年2月1日～2月29日の1ヶ月間、「伊平屋空港の調査報告書2」を皆様にお配りし、「空港整備計画の内容とその妥当性」等についてご意見を募集しました。主なPI対象者である伊平屋村、伊是名村の村民をはじめ、多くの方々からご意見をいただきました。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

伊平屋空港協議会としましては、アンケート結果などから、提供した情報について概ね皆様のご理解を得られたと考えております。PI（ステップ2）の意見募集の結果は以下のとおりです。

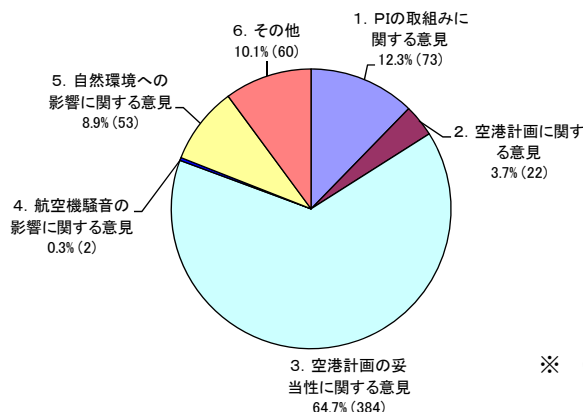
- アンケートに対する回答は合計977通になりました。性別、年齢、職業に偏りなく、幅広い層から回答が得られています。「伊平屋空港の調査報告書2」に関する理解度では、各項目について約8割の方々から「理解できた」または「ある程度理解できた」との回答を頂きました。また、主なPI対象者である伊平屋・伊是名村居住者の回答が全体の65%を占めました。

<調査報告書2に関する理解度>



- アンケートの自由解答欄では、445名の方々から意見を頂きました。複数の内容が書かれている意見を、内容別に分割すると合計594件の意見に整理されました。その結果、「空港の妥当性等に関する意見」が384件(64.6%)と最も多く、その他にもPIの取組み(73件)、自然環境への影響(53件)等に関する意見がありました。なお、空港整備に対する肯定的な意見が大部分を占める中で、否定的な意見も87件(14.6%)ありました。(詳細は20頁またはホームページを参照)

<寄せられた意見の内容別の件数>



※ () 内は各意見のサンプル数

主なご意見の内容とご意見に対する対応

寄せられた意見	意見に対する対応
空港計画の妥当性に関する意見：384件	
航空利用者の見込みを詳しく知りたいという意見 (18件)	航空需要予測は、まず、社会経済指標などから将来の伊平屋・伊是名と本島間の「地域間の旅客流動量」を予測しました。次に、将来の伊平屋・伊是名と本島間の交通サービス水準（所要時間・費用・提供座席数）の想定から航空・船舶の「交通機関分担率」を予測しました。伊平屋と那覇路線の航空需要予測値は、「地域間の旅客流動量の予測」と「交通機関分担率の予測」を乗じて算出しています。なお、今後の事業化に向けた検討の中で精査を行う予定です。 2015年度：2.9万人、2020年度：2.9万人、2025年度：3.0万人、 2030年度：3.1万人
費用便益分析結果を詳しく知りたいという意見（20件）	費用便益分析は、国が示している「空港整備事業の費用対効果分析マニュアル Ver. 4」に基づき算出しています。なお、以下の内容は現段階におけるものであり、今後実施する事業化に向けた検討のなかで見直すこともあります。 ■需要予測：年間約3万人（上記の予測結果を採用） ■利用者便益：約65億円 ■総費用：約33億円 ■費用便益比：2.0 建設条件：事業費：約40億円（工事期間6年間） 評価期間：建設期間+50年
航空路線の開設・維持に関する意見（24件）	航空会社の意見によると、伊平屋路線の開設にあたり、採算性の面からは十分な需要が必要だとしています。伊平屋路線の開設・維持には、両村の積極的な利用ほか、観光などで島を訪れる利用者を増やすための地元の取組みが重要になると考えています。
空港整備による効果を期待する意見（71件）	伊平屋空港の整備による効果には、輸送手段の安定性の確保、島の活性化、産業の振興などがあげられます。伊平屋空港は伊平屋村と伊是名村の村民が将来にわたり安心して島で暮らせるための社会基盤と考えており、伊平屋・伊是名地域における空港整備は必要であると考えています。
空港建設の必要性を疑問視する意見（77件）	伊平屋・伊是名両村から県庁所在地の那覇市までは、フェリーを利用して約4時間かかるばかりでなく、荒天によるフェリーの欠航が多いため、住民生活や地域の経済活動等に大きな影響を及ぼしています。このような両村が抱える課題の解消と地域活性化を図るためには、移動しやすく安定的な代替交通手段として航空ネットワークが必要と考えています。県としては、P Iの実施結果を踏まえ、今後も空港整備の事業化に向けて取り組んでいきます。なお、建設の際には県が事業主体となります。
空港建設は必要又は早期実現を要望する意見（154件）	
伊平屋・伊是名間の移動手段の整備が必要とする意見（20件）	需要予測では、伊是名村から約1万人の旅客を見込んでおり、両村間の円滑な移動を確保することが前提となっております。両村を結ぶ交通手段については、両村の行政や関係者で構成される「伊平屋・伊是名定期航路等連絡協議会」が、定期的な船舶航路の実現を目指して検討しています。なお、沖縄県ではその拠点となる野甫港や内花港の再整備に着手しています。
自然環境への影響に関する意見：53件	
自然環境への配慮を要望する意見（43件）	伊平屋空港の整備事業は、沖縄県の環境影響評価条例に基づく環境アセスメントの評価対象事業に該当します。環境アセスメントとは、事業実施前にその事業が環境に及ぼす影響について調査、予測及び評価を行い、その結果を公表し、住民等や行政の意見を聴き、それらを踏まえてその事業を環境保全上より望ましいものとする仕組みです。 今後実施予定の環境アセスメントにより、自然環境に与える影響や保全対策について、詳細に検討していきたいと考えています。
自然環境を重視し空港建設に対して否定的な意見（10件）	

※P I（ステップ2）の詳細な活動内容を「Ⅱ. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）実施報告書（5～29頁）」にまとめました。

II. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）実施報告書

1. P I 活動（ステップ2）の実施状況

伊平屋空港のP I（ステップ2）では、平成20年1月21日よりP Iの開始を周知するためのPR活動を開始しました。また、平成20年2月1日から2月29日にわたり「伊平屋空港調査報告書2」にとりまとめた情報をみなさまと共有し、意見を把握するための活動を実施しました。

（1）P I 活動（ステップ2）の実施対象者

- 伊平屋・伊是名村民
- 地元関係団体
- 沖縄県民
- 伊平屋空港に関心を有する個人及び団体

■ 伊平屋・伊是名村民の人口及び世帯数

	人口（人）		世帯数（世帯）	
	H18.3	H17.3	H18.3	H17.3
伊平屋村	1,534	1,547	570	557
伊是名村	1,800	1,841	798	801
伊平屋村+伊是名村	3,334	3,388	1,368	1,358
沖縄県合計	1,381,820	1,372,388	523,579	511,942

出典：住民基本台帳（平成18年3月31日、平成17年3月31日現在）

(2) P I 活動（ステップ2）の実施計画

「伊平屋空港のパブリック・インボルブメント実施計画書（平成18年5月）」におけるP I 活動（ステップ2）の実施計画は以下に示すとおりです。

■ P I 活動（ステップ2）の実施計画



(3) P I 活動（ステップ2）の実施状況

ステップ2のP I活動は、平成18年5月にとりまとめた「伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（P I）実施計画書（以下、P I実施計画書）」を基に、ステップ1におけるP I活動の経験やP I評価委員会の評価・助言を踏まえて実施しました。以下に周知・広報活動や情報提供・意見収集の実施状況を示します。

1) 周知・広報の活動内容

P I実施計画書で計画していた周知・広報活動として、新聞、行政広報誌、ポスター、ホームページに、P I活動の開始やP Iの実施期間等をお知らせする記事を掲載しました。また、P I評価委員会の評価・助言等も踏まえ、伊平屋村・伊是名村全戸へのチラシ配布や、マスメディアを活用した周知・広報活動を実施し、P I活動の周知・広報に努めました。

■ 行政広報誌等への記事掲載

分類	掲載記事	掲載日・掲載号
新聞	県民サロン（琉球新報、沖縄タイムス）	2月15日
広報誌	広報いへや	2月号
	広報いぜな	2月号
	美ら島沖縄	2月号

■ ポスターの掲示

掲示期間	掲示場所
1月21日（PR活動開始）～ 2月29日（意見募集終了）	○伊平屋村、伊是名村役場 ○沖縄県庁 ○那覇市、名護市、浦添市等の各役所 ○那覇空港、離島空港 ○運天港（伊平屋発券所・伊是名発券所） ○前泊港（伊平屋村）ターミナル ○仲田港（伊是名村）ターミナル ○伊平屋村、伊是名村関係団体 等

■ ホームページへの掲示

掲示期間	掲示場所
1月21日（PR活動開始）～ ステップ2終了	○沖縄県土木建築部空港課ホームページ ○伊平屋村ホームページ ○伊是名村ホームページ

■ 追加実施した活動

手法	実施期間	実施場所・内容
新聞への記事掲載	P R活動期間及び 情報提供期間	P I実施の周知として、新聞（副読誌）に4誌・6回掲載。 ・沖縄タイムス インフォプラザ：2回 ・琉球新報 いきいき遊らんど くらし&情報ガイド：2回 ・週刊沖縄建設新聞：1回 ・週刊レキオ（琉球新報）：1回
テレビ放映	2月23、24日	県政広報テレビ「うまんちゅひろば」
ラジオ放送	2月18日～22日	県政広報ラジオ「ラジオ県民室」
チラシの配布	P R活動期間	伊平屋・伊是名村の全戸に配布 (世帯数 伊平屋村：570戸、伊是名村：798戸)
マスコミへの 情報提供	1月29日	沖縄県土木建築部とマスコミの記者との定例記者懇談会
電光広告塔	1月23日～2月29日	沖縄県議会棟前の電光広告塔 (掲載内容：伊平屋空港整備計画等に対する意見を募集中 二月一日～二十九日)
地元の防災無線 による放送	説明会の開催当日	伊平屋村・伊是名村の説明会当日に、説明会への参加を周知。

■ 周知・広報活動の例

<行政広報誌への記事掲載>

【広報いへや】



伊平屋空港の整備に関するご意見を募集しています

空港整備は伊平屋村・伊是名村の活性化に向けて実現すべき重要な課題です。両村は本土復帰当初から沖縄県等に先駆けて空港整備に向けた要請活動を行ってまいりました。また、沖縄県は離島における生活利便性の向上と観光や産業振興の観点から、同地域における空港整備の検討を行ってまいりましたが、それまでの経緯や両村との話し合いにより、伊平屋村が整備を推進することとして決定いたしました。

伊平屋空港協議会(沖縄県、伊平屋村・伊是名村)では、伊平屋空港の整備にあたって「バブリック・インボルブメント(P.I)手法を導入し、計画段階から両村民を中心とする関係者の方々に積極的に情報を提供し、皆様のご意見を伺いながら検討を進めてまいります。

是非、これからご提供していく伊平屋空港の整備に関する情報について、皆様のご意見をお寄せください。平成10年度は、空港整備の必要性等について意見を伺うP1ステップ1を実施しました。今年度は、P1の最終段階としてP1ステップ2を実施します。

情報のご提供、ご意見募集は2月1日より開始しています

提供情報の項目	提供情報の内容等
空港整備計画の内容について	伊平屋空港はどのような空港になるのか、空港の配置はどのように決められたのか、などに及ぶ情報を提供します。
空港整備の効果などについて	伊平屋―那覇直線の航路の発達はあるのか、空港整備による雇用対効果は得られるのかなど、空港整備の妥当性を判断する上で必要な情報を提供します。
周辺環境への影響について	空港が整備されることで航空機騒音の影響はないのか、空港整備で失われるものはないのか、自然環境への影響はないのか、などに及ぶ情報を提供します。

情報のご提供とご意見募集の方法

ご提供する情報の内容について記載したパンフレットを随時お配りします。また、これらの資料は伊平屋村、伊是名村の役所等にも置きますので自由に入手頂けます。お手元に届いた資料をお読みいただき、その内容に関するご意見を資料に添付する返信用紙にご記入ください。ご記入いただいたハガキは、必ずに封筒に入れてお持ち帰りください。また、伊平屋村、伊是名村役所のホームページからアクセスできます。伊平屋空港ホームページからもご意見を募集しています。

その他の催し

- ◆ 地元説明会の開催
情報のご提供とご意見募集期間中に、伊平屋・伊是名村の方々と関係する方々に対して、ご提供する情報の内容に関する説明会を開催します。
【場 所】伊平屋村職員研修センター
【場 日】2月20日(水) 午後2時開始
【設 備】説明会参加者に「伊平屋空港の調査報告書2」を配布し、内容に沿って説明します。
- ◆ 「パネル展示」
村役場や港ターミナルでの「パネル展示」なども予定していますので、是非、ご観覧ください。

伊是名村の場合は
場 所：伊是名村産業支援センター
開催日：2月21日(木) 午後7時開始

伊平屋空港協議会
【沖縄県・伊平屋村・伊是名村】

「バブリック・インボルブメントとは」
(Public Involvement)
「市民参加」または「住民参画」と訳されます。公共事業の進捗を立寄る過程で地元住民などから幅広く意見を聞き、計画決定に活かしていく手法です。

<テレビ放送>

【うまんちゅひろば】



伊平屋空港に関する意見募集

内 容 「伊平屋空港の調査報告書2」について

期 限 2/29(金)

入 手 先 県空港課、伊平屋村役場、伊是名村役場 等
※県空港課ホームページにも掲載

お問い合わせ
県空港課 **866-2400**

<ポスターの掲示>



フェリー伊平屋

2) 情報提供・意見収集の活動内容

P I 実施計画書で計画していた情報提供活動として、今回提供する情報をわかりやすくまとめた「伊平屋空港の調査報告書 2 (以下、調査報告書 2)」を作成しました。この調査報告書 2 は、情報提供期間中 (2 月 1 日～2 月 29 日) に、行政機関の窓口や交通ターミナルなどへ備え置きました。また、地元説明会を開催し、調査報告書 2 を詳しく説明したほか、P I ステップ 1 での経験や、P I 評価委員会の評価・助言等も踏まえ、P I 実施計画書で計画していなかったパネル展示も実施しました。これらの活動の結果、調査報告書 2 の配布数は合計で 3,499 部になりました。

意見収集活動は、調査報告書 2 に挟み込んだアンケート用紙の返信、説明会・パネル展示におけるアンケート用紙への記入、ホームページからの書き込みにより行いました。また、伊平屋村、伊是名村の方々からの意見収集においては、沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名村郷友会のネットワークを活用した活動も行いました。

■ 調査報告書 2 の配布

配布期間	配布場所
2 月 1 日 (意見募集開始) ~ 2 月 29 日 (意見募集終了)	<ul style="list-style-type: none"> ○伊平屋村、伊是名村役場 ○沖縄県庁 ○那覇市、名護市、浦添市等の各役所 ○那覇空港、離島空港 ○運天港 (伊平屋発券所・伊是名発券所) ○前泊港 (伊平屋村) ターミナル ○仲田港 (伊是名村) ターミナル ○伊平屋村、伊是名村関係団体 等

■ ホームページへの掲示

掲載期間	掲載場所
1 月 21 日 (PR 活動開始) ~ ステップ 2 終了	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県土木建築部空港課ホームページ ○伊平屋村ホームページ ○伊是名村ホームページ

■ 地元説明会

開催日時	開催場所	参加人数
平成 20 年 2 月 20 日 (水) 午後 3 時 10 分より	伊平屋中学校 (対象者: 伊平屋中学校、野甫小中学校に通う中学生)	72 名
平成 20 年 2 月 20 日 (水) 午後 7 時 00 分より	伊平屋村離島振興総合センター (対象者: 伊平屋村民)	74 名
平成 20 年 2 月 21 日 (木) 午後 7 時 00 分より	伊是名村産業支援センター (対象者: 伊是名村民)	19 名
平成 20 年 2 月 27 日 (水) 午後 7 時 00 分より	浦添宜野湾漁業協同組合研修センター (対象者: 沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名村郷友会)	59 名

■ 意見収集

収集期間	意見収集数（合計）
2月1日（意見募集開始）～2月29日（意見募集終了）	977通（362通）

※（）内の数字は、PIステップ1における意見収集数を示す。

■ 追加実施した活動

手法	掲載期間	掲載場所
パネル展示	2月18日～2月29日（意見募集終了）	○運天港ターミナル （伊平屋・伊是名発券所）
		○前泊港ターミナル
		○仲田港ターミナル
	2月18日～2月29日（意見募集終了）	○沖縄県庁10階空港課
	2月25日～2月29日（意見募集終了）	○沖縄県庁1階県民ホール

■ 情報提供・意見収集活動の掲示・開催風景

<調査報告書の配布>



<パネル展>



<説明会>



2. 寄せられた意見の分析

(1) 分析方法

1) 対象とする意見

「調査報告書 2」に挟み込んだアンケート回答用紙（ハガキ）やホームページの意見記入フォームから得られたアンケートの回収数は合計で 977 通になりました。

回収場所・方法では、ポスト等への投函、伊平屋・伊是名村各世帯からの回収が最も多く、全体の 65%になりました。

■ アンケート回収結果

手段	回収場所・方法		回収数	
ハガキ (943 通)	伊平屋村 (24 通)	伊平屋村役場	19 通	
		前泊港	5 通	
		運天港（伊平屋発券所）	0 通	
		フェリー	0 通	
	伊是名村 (61 通)	伊是名村役場	27 通	
		仲田港	9 通	
		運天港（伊是名発券所）	5 通	
		フェリー	20 通	
	沖縄県庁 (57 通)	1 F 県民ホール	48 通	
		10 F 空港課	9 通	
	説明会 (169 通)	伊平屋中学校 (対象：伊平屋中学校、野甫小中学校に通う中学生)		64 通
		伊平屋村離島振興総合センター（対象者：伊平屋村民）		65 通
		伊是名村産業支援センター（対象者：伊是名村民）		17 通
浦添宜野湾漁業協同組合研修センター (対象者：沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名村郷友会)		23 通		
ポスト等 (632 通)	ポストへの投函、伊平屋・伊是名村各世帯からの回収 等		632 通	
メール (34 通)	伊平屋空港 P I（ステップ 2）のホームページ		34 通	
アンケート総回収数			977 通	

※意見収集期間は 2 月 1 日～2 月 29 日ですが、ハガキについては 3 月 1 日（土）以降に受理したものも集計対象としました。メールについては 3 月 2 日（日）にホームページ上でのメールの受付を終了し、3 月 2 日までのメールを対象としました。なお、質問事項の全ての回答記入欄が無記入であったものは対象とせず、また、該当する番号の選択方法が不明である場合は、無回答としました。

2) 分析する項目

寄せられた意見は、以下に示す5つの項目について把握しました。

■分析項目

- ① 属性（性別、年齢、職業、居住地）の分析
- ② P I 活動の開始を知った情報メディア（ご意見募集 問1）
- ③ 「伊平屋空港の調査報告書2」の興味（問2）
- ④ 「伊平屋空港の調査報告書2」の理解度（問3～9）
- ⑤ 寄せられた意見の分類（問10）

■ 調査報告書2のご意見募集用紙（裏面）

問1. 今回のPI（ステップ2）が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。
 （回答は複数でも結構です。回答記入欄の該当する番号を○で囲んでください。）

1. 調査報告書2の配布	2. ポスター	3. ホームページ
4. 行政の広報誌（「広報いへや」、「広報いぜん」等）	5. 周田の人などからの伝言（口コミ）	
6. テレビ・ラジオ	7. 電光公告塔	
8. その他（「その他」の内容を回答記入欄にご記入ください）		

問2. 今回ご提供した「伊平屋空港の調査報告書2」の内容について、興味をもちましたか。
 （回答は1つです。回答記入欄の該当する番号を○で囲んでください。）

1. とても興味深かった	2. 興味深かった	3. 余り興味もてなかった	4. 興味がない
--------------	-----------	---------------	----------

以下の問3～問10の設問は、お読みいただいた「伊平屋空港の調査報告書2」の内容について、どの程度ご理解いただけたかをお伺いするものです。以下の設問に対する答えをハガキの回答欄にご記入ください。
 （各設問につき回答は1つです。回答記入欄の該当する番号を○で囲んでください。）

1. 理解できた	2. ある程度理解できた	3. よくわからない
----------	--------------	------------

問3. 伊平屋空港のPIの進め方についてご理解いただけましたか。（調査報告書 1 頁）

【回答記入欄】

問1:	1・2・3・4・5・6・7・8 その他:		
問2:	1・2・3・4		
問3:	1・2・3	問4:	1・2・3
問5:	1・2・3	問6:	1・2・3
問7:	1・2・3	問8:	1・2・3
問9:	1・2・3		
問10:	自由回答欄		

問4. PIステップ2終了後、開港までに必要な検討内容の手続きについてご理解いただけましたか。（調査報告書 1 頁）

問5. 伊平屋空港に計画されている施設の内容についてご理解いただけましたか。（2 頁）

問6. 空港の配置がどのような点に配慮されて計画されているのかご理解いただけましたか。（調査報告書 3～4 頁）

問7. 空港計画の妥当性についてご理解いただけましたか。（調査報告書 5 頁）

問8. 周辺環境に対する影響や今後の対応についてご理解いただけましたか。（調査報告書 6 頁）

問9. 空港整備計画の概要（諸元）についてご理解いただけましたか。（調査報告書 裏表紙）

問10. 今回ご提供した「伊平屋空港の調査報告書2」の内容について、ご意見やご感想を自由回答欄にお書きください。

○貴方自身のことについて教えてください。

住 所	〒 _____ 市・区・町・村 _____ 番 _____ 号 _____	姓 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> その他 ()
性 別	<input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 無職

3) 自由意見を分類する方法

- (1) 複数の内容を含む意見については、意見を分割して整理する。
- (2) 各意見は、「調査報告書2」の内容をもとに整理した6つのグループに分類し整理する。
 - ① P I の取組みに関する意見
 - ② 空港計画に関する意見
 - ③ 空港計画の妥当性に関する意見
 - ④ 航空機騒音の影響に関する意見
 - ⑤ 自然環境への影響に関する意見
 - ⑥ その他
- (3) 6つのグループ毎に整理した意見を、さらに内容別に分類・整理する。

～意見の内容の分類のイメージ～

(1) 複数の内容を含む意見については、意見を分割して整理する。

(○さんの意見)

航空会社から採算性のある意見があるが問題ないか、飛行機を利用してもらうためにも両村の船舶の一元化が必要と考える。滑走路計画で島と島の間をサンゴ礁被度の高い場所を埋める計画になっているが、環境保全を図るための工法を検討してほしい。

(3つの意見に分割)

A：航空会社から採算性のある意見があるが問題ないか。

B：両村の船舶の一元化が必要と考える。

C：滑走路計画で島と島の間をサンゴ礁被度の高い場所を埋める計画になっているが、環境保全を図るための工法を検討してほしい。

(2) 各意見は、「調査報告書2」の内容をもとに整理した6つのグループに分類し整理する。

A：航空会社から採算性のある意見があるが問題ないか

B：両村の船舶の一元化が必要と考える。

C：滑走路計画で島と島の間をサンゴ礁被度の高い場所を埋める計画になっているが、環境保全を図るための工法を検討してほしい。

各意見を下記のグループに振り分ける。

- ① P I の取組みに関する意見
- ② 空港計画に関する意見
- ③ 空港計画の妥当性に関する意見
- ④ 航空機騒音の影響に関する意見
- ⑤ 自然環境への影響に関する意見
- ⑥ その他

(3) 6つのグループ毎に整理した意見を、さらに内容別に分類・整理する。

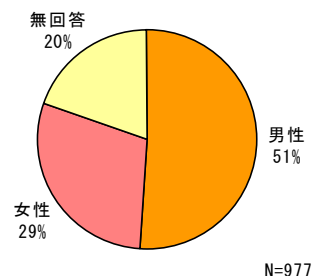
(その結果、それぞれの意見は合計 19 の小分類に整理された)

(2) 分析結果

1) アンケート回答者の属性

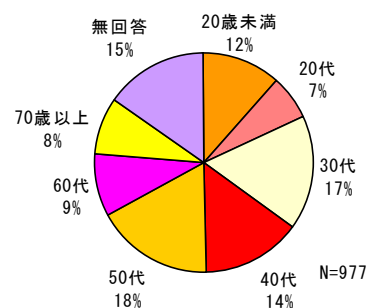
<性別>

回答者のうち、男性は51%、女性は29%です（無回答者は20%）。



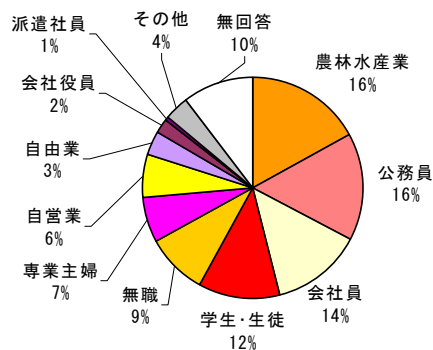
<年齢>

50歳代、30歳代は概ね20%を占め、40歳代、20歳未満は10%程度です。回答者の年齢層については、大きな偏りはありませんでした。



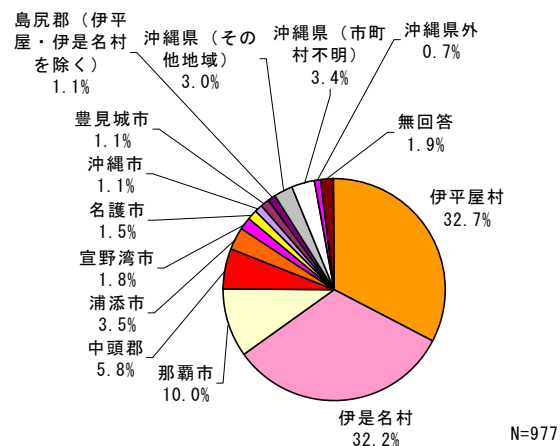
<職業>

農林水産業、公務員は16%を占め、次いで会社員（14%）、学生・生徒（12%）と続きます。回答者の職業については、大きな偏りはありませんでした。



<居住地>

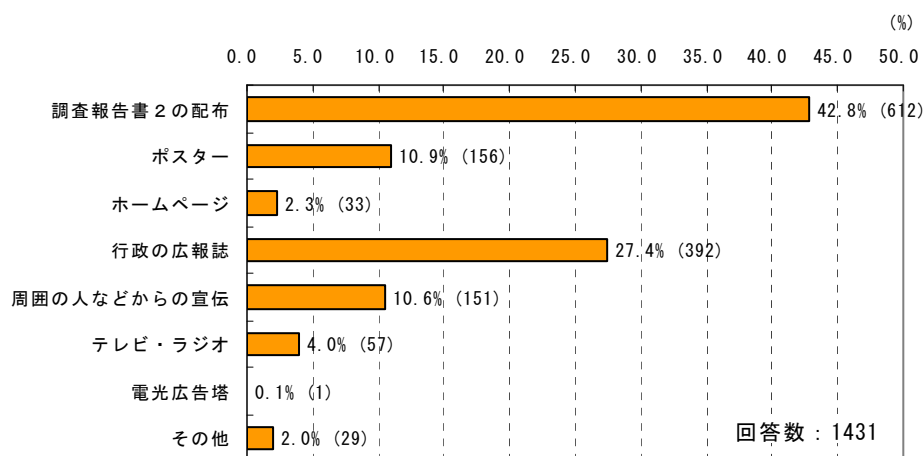
伊平屋・伊是名村の居住者は全体の65%を占めます。次いで、那覇市（10%）、中頭郡（6%）、浦添市（4%）と続く。沖縄県外者は0.7%で、大半の意見は沖縄県居住者です。



2) P I 活動の開始を知った情報メディア（複数回答あり）

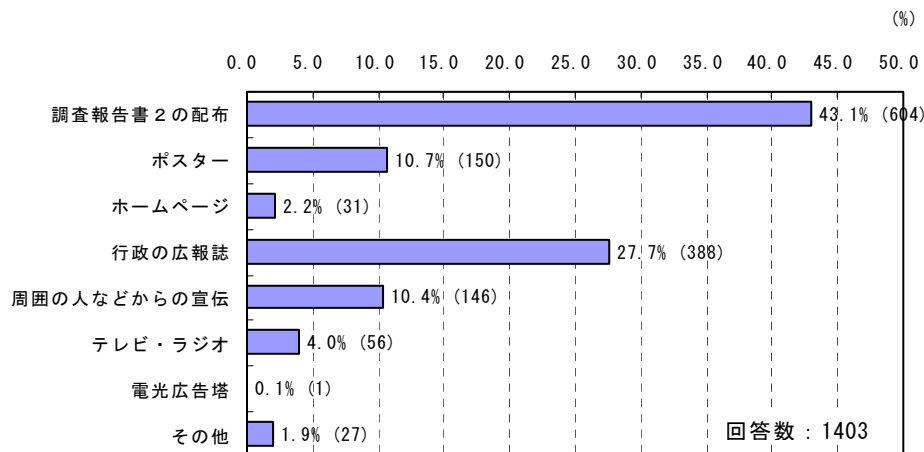
P I 活動の開始を知った情報メディアについて、回答者全体及び沖縄県居住者は、「調査報告書 2 の配布」が 43% で最も多く、約半数を占めています。次いで、「行政の広報誌」が 27%、「ポスター」及び「周囲の人などからの宣伝」が 11% でした。この傾向は、伊平屋村居住者伊是名村居住者でもほぼ同様でしたが、伊是名村居住者では「調査報告書 2 の配布」や「行政広報誌」の割合がやや高めでした。

<全体>

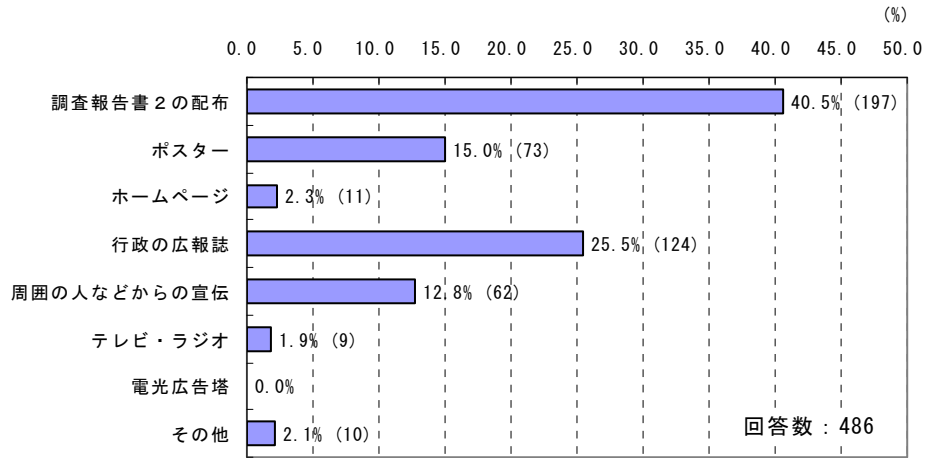


※ () 内は各情報メディアの回答数

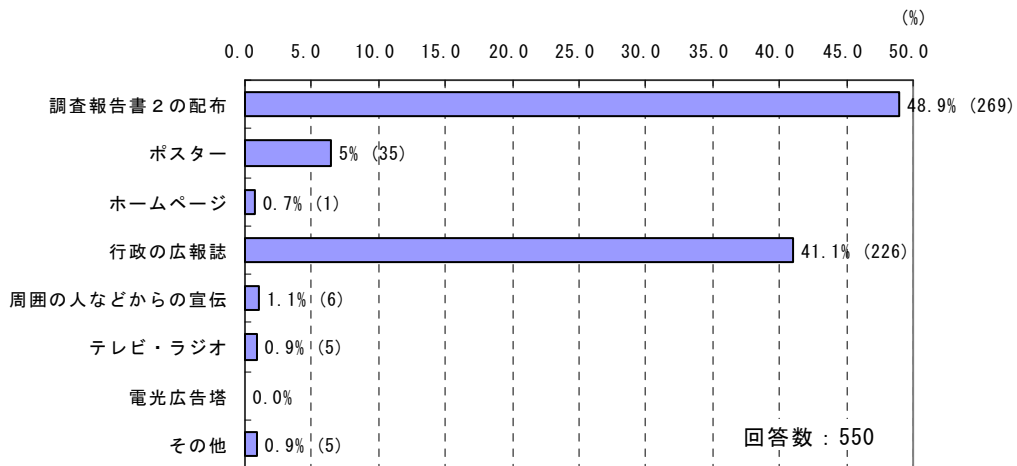
<沖縄県>



<伊平屋村>



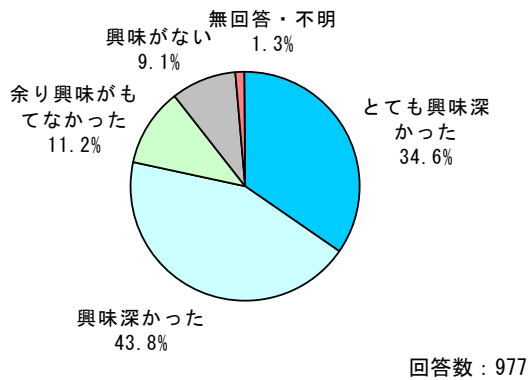
<伊是名村>



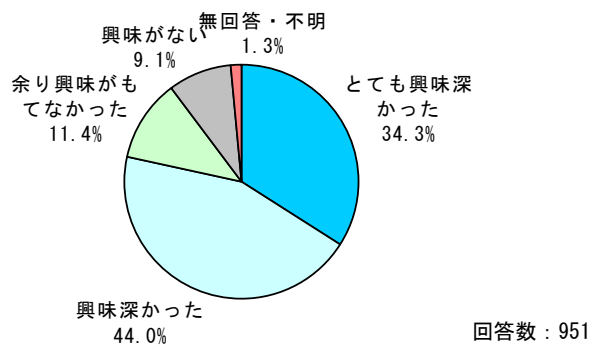
3) 「伊平屋空港の調査報告書2」の内容についての興味

調査報告書の内容について、回答者全体では「とても興味深かった」が35%、「興味深かった」が44%で、この両方を合わせると全体の約8割を占めています。沖縄県居住者、伊平屋村居住者もほぼ同様の傾向を示しています。伊是名村居住者では、「とても興味深かった」が5%を下回っていますが、「興味深かった」は59%であり、両方を合わせると全体の64%を占めています。

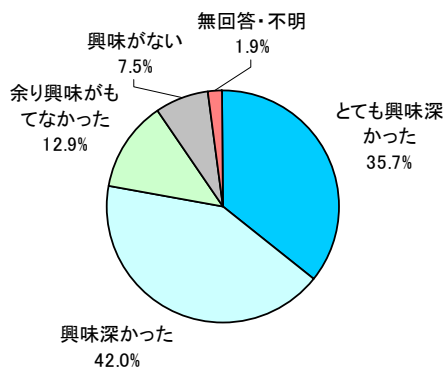
<全体>



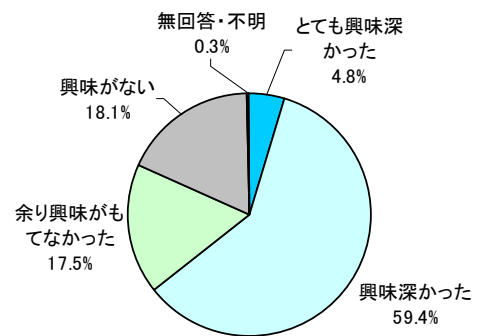
<沖縄県>



<伊平屋村>



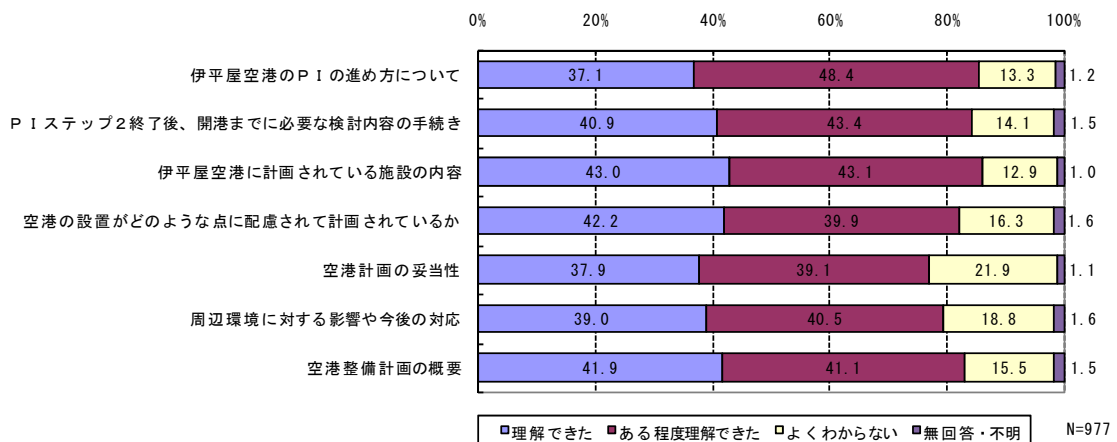
<伊是名村>



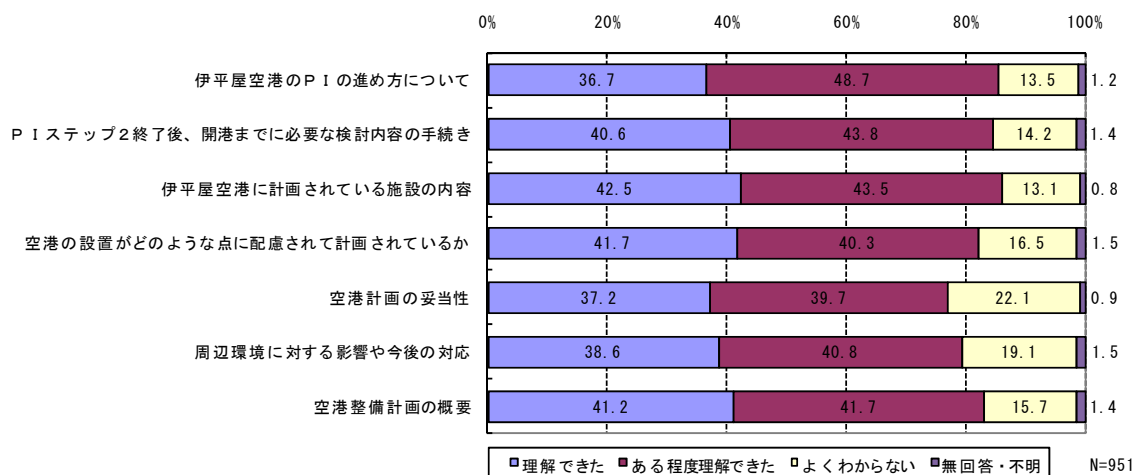
4) 「伊平屋空港の調査報告書2」の内容についての理解度

調査報告書の内容について、回答者全体では「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人は、「空港計画の妥当性」を除いた項目で80%を超えており、大きな偏りはありませんでした。伊平屋村居住者も同様の傾向を示しています。伊是名村居住者では、全ての項目に関して「理解できた」は10%を下回っていますが、「ある程度理解できた」は60%前後を占めており、両方を合わせると、60~80%を占めています。

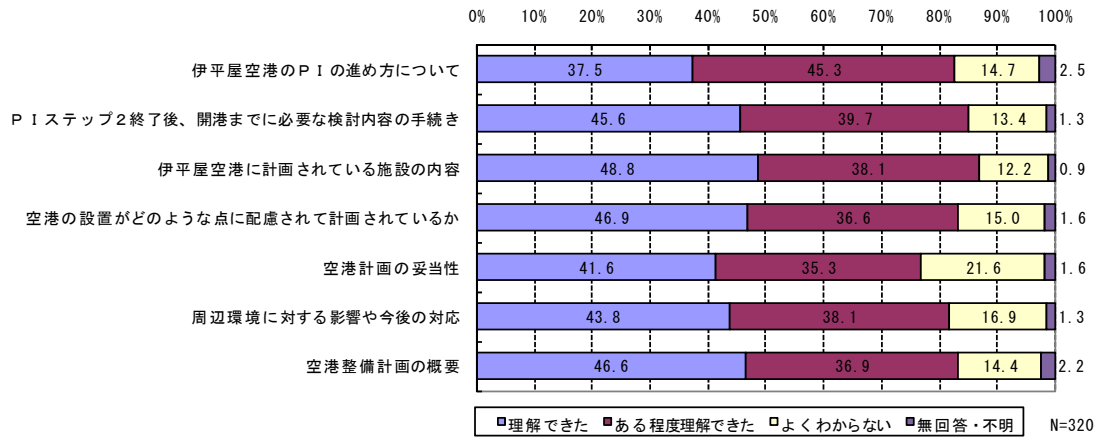
<全体>



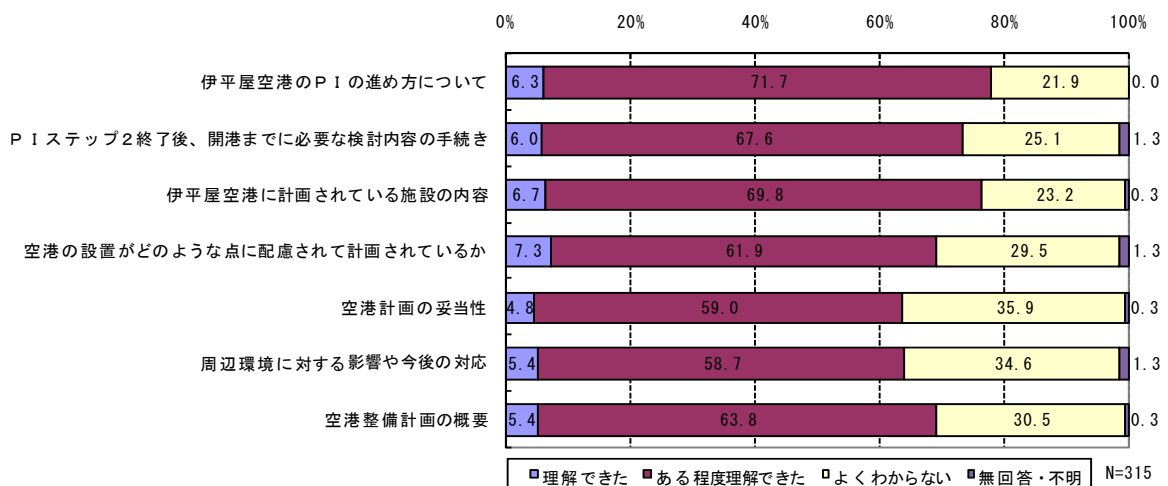
<沖縄県>



<伊平屋村>



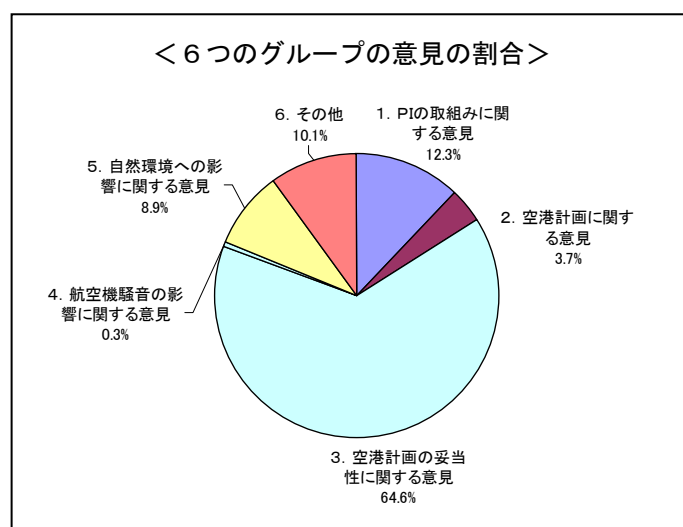
<伊是名村>



5) 寄せられた意見

寄せられた意見（445通）のなかには、複数の内容（意見）を含むものがあり、これを個々の内容になるよう分割すると、合計594件の意見に整理されました。594件の意見を、「調査報告書2」の内容をもとに整理した6つのグループに分類し、さらに内容別に分類した結果、合計で19の分類に整理されました。その中で「空港の妥当性に関する意見」が多く384件となっています。なお、空港整備に対する否定的な意見は87件（14.6%）となっています。

以下に寄せられた意見の分類と寄せられた意見への対応を示す。



分類	件数	割合
1. PIの取組みに関する意見	73件	12.3%
1) P Iの進め方に関する意見	(20件)	
2) 調査報告書に関する意見	(53件)	
2. 空港計画に関する意見	22件	3.7%
1) 空港計画に期待する意見	(10件)	
2) 空港施設に関する意見	(7件)	
3) 空港配置に関する意見	(5件)	
3. 空港計画の妥当性に関する意見	384件	64.6%
1) 航空利用者の見込みを詳しく知りたいという意見	(18件)	
2) 費用便益分析結果を詳しく知りたいという意見	(20件)	
3) 航空路線の開設・維持に関する意見	(24件)	
4) 空港整備による効果を期待する意見	(71件)	
5) 空港建設の必要性を疑問視する意見	(77件)	
6) 空港建設は必要又は早期実現を要望する意見	(154件)	
7) 伊平屋・伊是名間の移動手段の整備が必要とする意見	(20件)	
4. 航空機騒音の影響に関する意見	2件	0.3%
1) 航空機騒音の影響の心配がないので、安心したという意見	(1件)	
2) 少しでもうるさくなるのは困るという意見	(1件)	
5. 自然環境への影響に関する意見	53件	8.9%
1) 自然環境への配慮を要望する意見	(43件)	
2) 自然環境を重視し空港建設に対して否定的な意見	(10件)	
6. その他	60件	10.1%
1) 航空サービスに対する要望に関する意見	(19件)	
2) 両村の人々の考え方を尊重する意見	(10件)	
3) その他	(31件)	
合計	594件	100%

■寄せられた意見とその対応（意見総数 594 件）

件数	寄せられた意見	意見に対する対応
73 件	1. P I の取組みに関する意見	
(20 件)	1) P I の進め方に関する意見 ・ P I の取組みを支持する意見 ・ P R を継続し、活動を更に盛り上げてほしいという意見	○ P I は公共工事の施策を立案する過程で地元住民などから幅広く意見を募り、計画決定に活かしていく手法です。現在の計画を進める場合には、今後も伊平屋・伊是名両村をはじめ県民の皆様に必要な情報を提供し事業の透明性の確保に努めていきたいと考えています。
(53 件)	2) 調査報告書に関する意見 ・ わかりやすかったという意見 ・ もっと具体的な内容を知りたいという意見 ・ わかりやすい内容にしてほしいという意見	○ 調査報告書の作成にあたっては、伊平屋・伊是名両村をはじめ県民の皆様への理解が深まるよう、必要な情報を出せるだけわかりやすい内容で表現するよう努めました。なお、今回のご意見を踏まえ、十分理解しやすい内容で情報提供できるよう努めていきたいと考えています。
22 件	2. 空港計画に関する意見	
(10 件)	1) 空港計画に期待する意見 ・ 施設規模は適切だとする意見 ・ 立派な施設を作って欲しいとする意見 ・ 良く考えられた空港計画だとする意見	○ 現在、那覇－伊平屋路線の将来航空需要は約 3 万人を見込んでおり、航空機材は DHC-8 型機（39 人乗り）の 1 日 2 往復を想定しています。施設計画としては、滑走路（1,180m）、エプロン（2 バース）、旅客ターミナルビル等を計画していますが、事業実施段階で施設の適正規模の詳細な検討を行います。
(7 件)	2) 空港施設に関する意見 ・ 滑走路長を決めた経緯や航空機材の想定を詳しく知りたいという意見 ・ 滑走路長の短縮を検討してほしいという意見	○ 那覇－伊平屋路線の航空需要を予測した結果、同路線の就航機材には DHC-8 型機（39 人乗り）を想定していることから、滑走路長はこれまで 1,200m で計画していました。しかし、島の文化財（拝所）を残し、海上部の埋立を極力少なくする観点から、滑走路を当初計画より 20m 短縮し 1,180m としました。なお、航空会社には、この滑走路長でも DHC-8 型機が安全に飛行できることを確認しています。 ○ DHC-8 型機（39 人乗り）の運航において、さらに滑走路を短くすることは、搭乗可能な人数、搭載可能な貨物量に制限が加わる可能性が高まると考えられます。
(5 件)	3) 空港配置に関する意見 ・ 空港候補地が野甫島となった経緯を知りたいという意見	○ 伊平屋島は、狭小な地域に賀陽山（標高 294m）等の標高 200m 以上の山々が連なっており、急峻な地形が大部分を占めます。また、限られた平野部は集落や主要産業である農業で利用されています。一方、野甫島は高い場所でも標高 40m 程度で、比較的なだらかな丘陵地となっています。そのため、伊平屋村全域を対象とした適地調査では、伊平屋島においては海上案、野甫島においては陸上案を伊平屋空港の候補地として選定し、前泊地先、島尻地先、野甫島の 3 案を検討しましたが「飛行機の安全運航」「周辺地域への影響」「建設工事の規模」「自然環境への影響」など様々な条件を比較評価した結果、総合的に優位である野甫島を選定しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・環境面を考えると丘陵地帯に空港を計画したほうがよいという意見 ・滑走路方位は南北方向がよいという意見 	<p>○島の丘陵地帯に空港を配置すると、島の景観が損なわれるほか、用地造成にかかる土工事が増加し、建設コストも大きくなると考えられます。</p> <p>○現地での気象観測の結果、候補地における一年を通じた恒風は北東方向です。現在の滑走路方位（東北東）でも、DHC-8型機（39人乗り）の運航において、風向きの影響による就航率の低下は小さいと考えています。また、南北に配置するとなると、できるだけ埋立面積を減らすために野甫島の中央部に配置することになり、その結果、島を分断するため望ましくないと考えています。</p>
384件	3. 空港計画の妥当性に関する意見	
(18件)	<p>1) 航空利用者の見込みを詳しく知りたいという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要予測の根拠を知りたいという意見 ・航空利用者数について疑問視する意見 	<p>○航空需要予測は、まず、社会経済指標などから将来の伊平屋・伊是名と本島間の「地域間の旅客流動量」を予測しました。次に、将来の伊平屋・伊是名と本島間の交通サービス水準（所要時間・費用・提供座席数）の想定から航空・船舶の「交通機関分担率」を予測しました。伊平屋と那覇路線の航空需要予測値は、「地域間の旅客流動量の予測」と「交通機関分担率の予測」を乗じて算出しています</p> <p>2015年度：2.9万人／2020年度：2.9万人／2025年度：3.0万人／2030年度：3.1万人</p>
(20件)	<p>2) 費用便益分析結果を詳しく知りたいという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な前提条件、算出結果を知りたいという意見 ・分析結果が信じられないとする意見 	<p>○費用便益分析は、国が示している「空港整備事業の費用対効果分析マニュアル Ver.4」に基づき算出しています。なお、以下の内容は現段階におけるものであり、今後実施する事業化に向けた検討のなかで見直すこともあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■需要予測：年間約3万人（上記の予測結果を採用） ■利用者便益：約65億円 ■総費用：約33億円 <p>（建設条件：事業費：約40億円（工事期間6年間）／評価期間：建設期間+50年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■費用便益比：2.0
(24件)	<p>3) 航空路線の開設・維持に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線の収支を心配する意見 ・路線の廃止を心配する意見 ・観光振興を含めた総合的な取り組みが必要だとする意見 	<p>○航空会社の意見によると、伊平屋路線の開設にあたり、採算性の面からは充分な需要が必要だとしています。伊平屋路線の開設・維持には、両村の積極的な利用ほか、観光などで島を訪れる利用者を増やすための地元の取り組みが重要になると考えています。</p>
(71件)	<p>4) 空港整備による効果を期待する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動時間の短縮効果に期待する意見 ・交通の代替手段が得られることに期待する意見 ・島の生活に安心感が増すことに期待する意見 ・観光客をはじめとする入り込み客の増加に期待する意見 ・経済・産業の振興など島の活性化を期待する意見 	<p>○伊平屋空港の整備による効果には、輸送手段の安定性の確保、島の活性化、産業の振興などがあげられます。伊平屋空港は伊平屋村と伊是名村の村民が将来にわたり安心して島で暮らせるための社会基盤と考えおり、伊平屋・伊是名地域における空港整備は必要であると考えています。</p>

(77 件)	5) 空港建設の必要性を疑問視する意見 ・ 空港は必要ないとする意見 ・ 空港そのものを維持できるかが心配とする意見 ・ もっと他のことに税金を使うべきだとする意見 ・ 空港建設によって村や住民の負担が増えることが心配だとする意見	○伊平屋・伊是名両村から県庁所在地の那覇市までは、フェリーを利用して約 4 時間かかるばかりでなく、台風等によりフェリーの欠航が多いため、住民生活や地域の経済活動等に大きな影響を及ぼしています。このような両村が抱える課題の解消と地域活性化を図るためには、移動しやすく安定的な代替交通手段として航空ネットワークが必要と考えています。
(154 件)	6) 空港建設は必要又は早期実現を要望する意見 ・ 一日も早い開港を望む意見 ・ 島の発展、島の生活には空港が必要とする意見	○今後の取り組みとしては、空港整備の必要性を疑問視する声に対してさらに丁寧な説明を行うとともに、飛行方式の設定や路線の開設の可能性なども含めて、空港整備の事業化に向けて取り組んでいきます。なお、建設の際には県が事業主体となります。
(20 件)	7) 伊平屋・伊是名間の移動手段の整備が必要とする意見 ・ 両村を結ぶ橋が必要だとする意見 ・ 定期船の実現が必要だとする意見 ・ 定期船の料金には補助が必要だとする意見	○需要予測では、伊是名村から約 1 万人の旅客を見込んでおり、両村間の円滑な移動を確保することが前提となっております。両村を結ぶ交通手段については、両村の行政や関係者で構成される「伊平屋・伊是名定期航路等連絡協議会」が、定期的な船舶航路の実現を目指して検討しています。なお、沖縄県ではその拠点となる野甫港や内花港の再整備に着手しています。
2 件	4. 航空機騒音の影響に関する意見	
(1 件)	1) 航空機騒音の影響の心配がないので安心したという意見	○航空機騒音は DHC-8 型機 (39 人乗り) が 1 日 2 往復することを想定して予測しており、騒音の範囲は空港用地から僅かに広がる程度であり、航空機騒音による日常生活への影響は少ないと考えられます。
(1 件)	2) 少しでもうるさくなるのは困るという意見	
53 件	5. 自然環境への影響に関する意見	
(43 件)	1) 自然環境への配慮を要望する意見 ・ 海上部の埋立てをやめる、又は対策を検討した方がほうという意見 ・ サンゴ・自然海浜など自然環境の保全に配慮して欲しいという意見 ・ 空港ができて観光が盛んになると自然が壊されることを不安視する意見	○伊平屋空港の整備事業は、沖縄県の環境影響評価条例に基づく環境アセスメントの評価対象事業に該当します。環境アセスメントとは、事業実施前にその事業が環境に及ぼす影響について調査、予測及び評価を行い、その結果を公表し、住民等や行政の意見を聴き、それらを踏まえてその事業を環境保全上より望ましいものとする仕組みです。今後実施予定の環境アセスメントにより、自然環境に与える影響や保全対策について、詳細に検討していきたいと考えています。
(10 件)	2) 自然環境を重視し空港建設に対して否定的な意見 ・ 自然が壊されるくらいなら空港はいらないとする意見 ・ 船だけで充分だとする意見	
60 件	6. その他	
(19 件)	1) 航空サービスに対する要望に関する意見 ・ 航空運賃を安く設定して欲しいとする意見 ・ 週末に便数を多くして欲しいとする意見 ・ 機内サービスに期待する意見	○航空サービスに対する要望は、現在の計画を進める場合には、みなさまから頂いたご意見・要望を踏まえ、伊平屋空港協議会が中心となって航空会社に要望していきます。
(10 件)	2) 両村の人々の考え方を尊重するという意見	
(31 件)	3) その他	

3. P I 活動（ステップ2）の評価

（1）評価方法

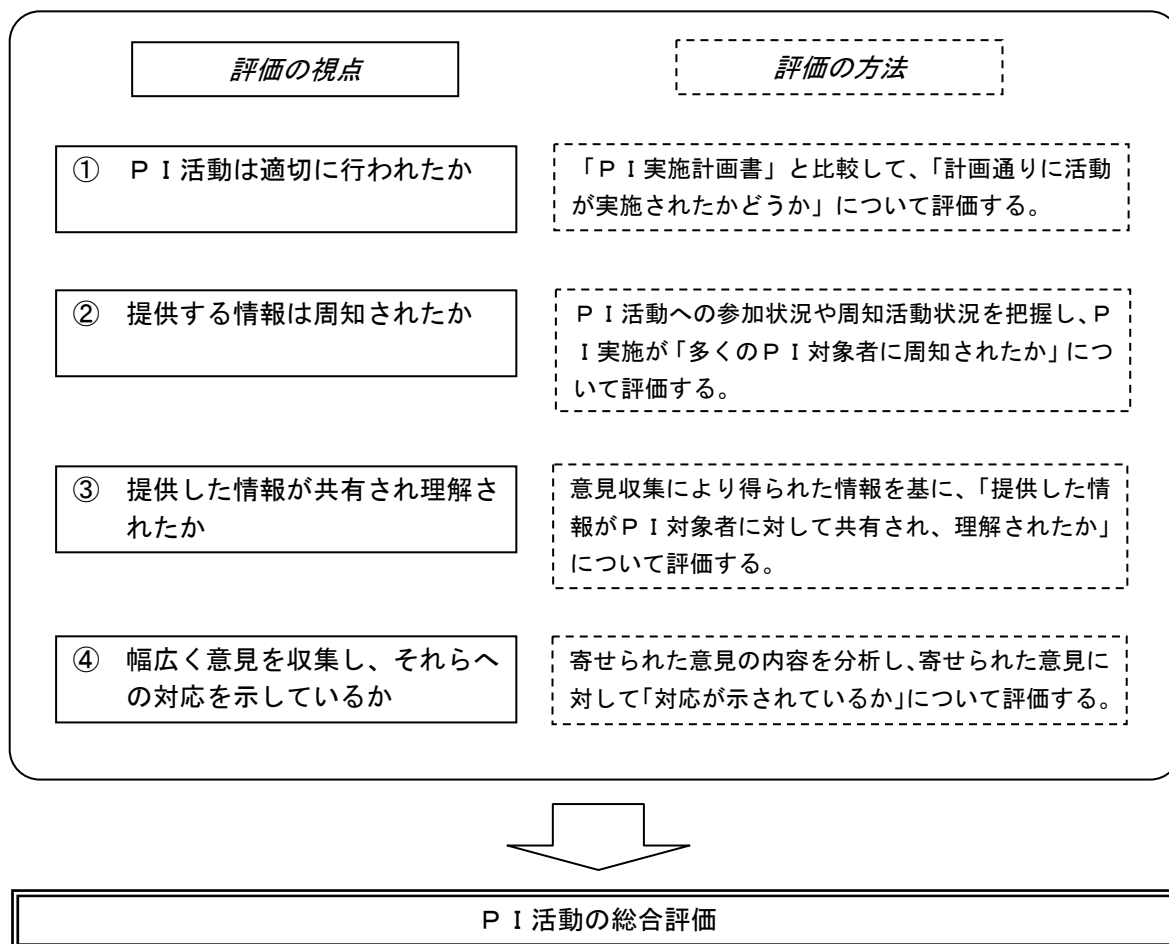
P I 活動（ステップ2）の評価対象、評価の方法は以下に示すとおりである。

1) 評価の対象

P I（ステップ2）で実施した「調査報告書2」に関する周知・広報活動及び情報提供・意見収集活動と、それらの活動を通じて収集した意見への対応を、評価対象とする。

2) 評価の方法

P I 活動の実施内容・実施結果は、以下に示す4つの視点で評価を行う。



(2) P I 活動（ステップ2）の評価

1) P I 活動は適切に行われたか

① 評価

<p>○ 「P I 実施計画書」に示されている活動は全て実施しています。</p> <p>○ 「P I 実施計画書」に示されている活動に加え、周知・広報活動に関してはマスコミへの情報提供や両村民全戸へのチラシの配布、情報提供に関してはパネル展示などを追加で実施しています。</p> <p>⇒ P I 活動は適正に行われたと判断しました。</p>

② P I 活動結果

	活動内容	P I 実施計画書との対比	活動結果
周知・広報	行政広報誌等への記事掲載	計画通り実施	広報誌は3誌3回、新聞は琉球新報と沖縄タイムスの県民サロンにP I 実施の周知記事を掲載しました。
	ポスター掲示	計画通り実施	伊平屋・伊是名村役場や県庁、港ターミナル等、P I 実施の周知を実施しました。(配布枚数 170 枚)
	ホームページへの掲示	計画通り実施	ホームページを開設し、P I 活動の到着情報等の情報更新も適宜実施しました。
	新聞への掲載	追加実施	新聞や副読誌の4誌に6回掲載しました。
	マスコミへの情報提供	追加実施	沖縄県土木建築部がマスコミ各社に対して定例記者懇談会を実施した。また、テレビ・ラジオを通してP I 実施の周知も行いました。
	電光広告塔	追加実施	沖縄県議会議棟の前に設置してある電光広告塔にP I 実施の字幕を掲載し、P I 活動への参加を促しました。
	防災無線	追加実施	地元説明会当日に防災無線による案内放送を実施しました。
	チラシの配布	追加実施	伊平屋・伊是名村に調査報告書を配布する前に、P I の周知・広報としてポスターを縮小したチラシを全戸に配布しました。
情報提供・意見収集	調査報告書2の配布	計画通り実施	調査報告書は3,499枚配布した。また、伊平屋村、伊是名村の全戸に対して配布しました。
	ホームページへの掲示	計画通り実施	P I 活動の到着情報等の情報更新を適宜実施しました。
	説明会	計画通り実施 (一部追加実施)	伊平屋・伊是名村民だけでなく、中学生(伊平屋)や、沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名村郷友会を対象に実施しました。
	パネル展示	追加実施	港ターミナル(3箇所)や沖縄県庁(2箇所)において、調査報告書2のパネル展示を行いました。
	意見収集	計画通り実施	約1ヶ月間にわたり意見を募集した。意見収集数は、説明会以外で収集したハガキは774通、説明会時では169通、ホームページ(メール)では34通で、合計977通となりました(回収率:28%)。

2) 提供する情報は周知されたか

① 評価

<ul style="list-style-type: none"> ○ 「調査報告書 2」の配布及び説明会を通じて、「調査報告書 2」に関する情報を、伊平屋、伊是名村民を中心に 3,499 冊提供しています。 ○ その他、パネル展示 5 箇所、ホームページを通じて「調査報告書 2」に関する情報を提供しています。 ○ その結果、977 人（回収率：28%）の方々からアンケートを回収することができ、主な P I 対象者である伊平屋・伊是名村の村民からは全体の 65%と数多くの意見が得られています。 ○ アンケートの回答者は、性別、年齢、職業に偏りなく、幅広い方々に情報を提供できています。 <p>⇒ 提供した情報は、伊平屋村、伊是名村、沖縄県の方々を中心に周知できたと判断しました。</p>

② 周知結果

項目		結果
P I 活動の実施		調査報告書の配布、ポスターの掲示、広報誌への記事掲載、ホームページへの掲示、パネル展示と、さまざまな情報伝達手段を用いて、周知・広報を実施しました。
調査報告書の配布枚数		伊平屋・伊是名村の各戸に配布する等、3,499 枚配布しました。
アンケート回収数		アンケートの回収数はハガキとホームページ（メール）を合わせて 977 通でした。
アンケートの回答者	性別	男性は 51%、女性は 29%でした（無回答者は 20%）。
	年齢	50 歳代が 18%で最も多く、次いで 30 歳代（17%）、40 歳代（14%）と続く等、幅広い年代から回答を得ることができました。
	職業	農林水産業及び公務員が 16%で最も多く、次いで、会社員（14%）、学生・生徒（12%）と続くなど、幅広い職種から回答を得ることができました。
	居住地	沖縄県が 90%以上を占め、そのうち伊平屋村と伊是名村は合計 65%を占めていました。沖縄県外からの回答数は 0.7%でした。
P I 活動の開始を知った情報メディア		沖縄県内外合計では、「調査報告書の配布」が 43%で最も多く、続いて「行政広報誌」が 27%となりました。

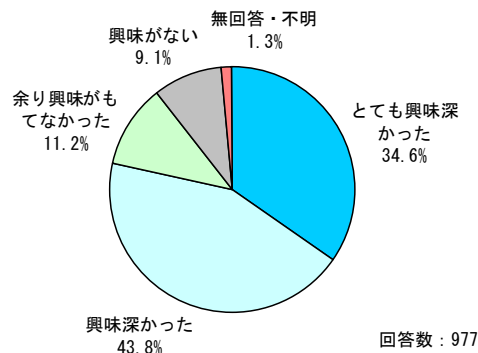
3) 提供した情報が共有され理解されたか

① 評価

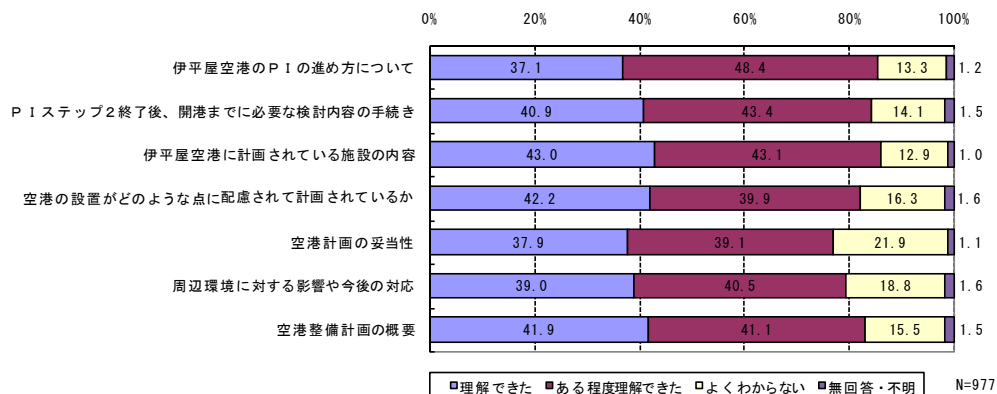
- 「調査報告書 2」の内容について「とても興味深かった」、「興味深かった」と回答した人は、回答者全体の約 80%に達しています。
 - 「調査報告書 2」の内容について「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人は、回答者全体で全ての項目で概ね 80%を超えています。
- ⇒ P I 活動を通じて提供した情報の内容は、伊平屋村、伊是名村、沖縄県の方々を中心に共有され、興味をもって理解されたものと判断しました。

② 理解度の結果

＜調査報告書 2 の内容についての興味（全体）＞



＜調査報告書 2 の内容についての理解度（全体）＞



■ 説明会の参加人数及び説明会でのアンケート回収数

開催場所	参加人数	アンケート回収数
伊平屋中学校（対象者：伊平屋中学校、野南小中学校に通う中学生）	72 名	64 通
伊平屋村離島振興総合センター（対象者：伊平屋村民）	74 名	65 通
伊是名村産業支援センター（対象者：伊是名村民）	19 名	17 通
浦添直野湾漁業協同組合研修センター （対象者：沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名村郷友会）	59 名	23 通

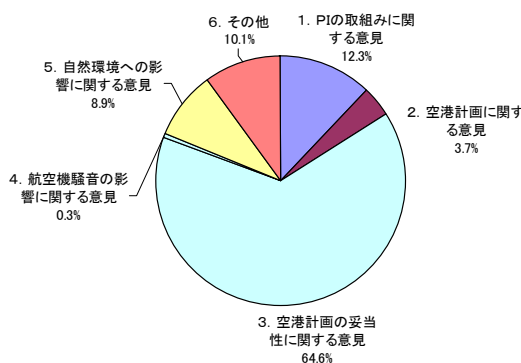
4) 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか

① 評価

- ステップ2では自由意見回答者は445名から得られ、その意見を594件の意見に分類整理しました。意見を6つのグループに分類した結果、「空港の妥当性に関する意見」が384件と最も多く得られました。
- また、寄せられた意見のなかにある質問、提案、要望などに対しては、伊平屋空港協議会としての考え方、今後の対応策を示しています。
- ⇒ 寄せられた意見への対応は明確に提示しました。

② P I 活動結果

<6つのグループの意見の割合>



分類	件数	割合
1. PIの取組みに関する意見	73件	12.3%
1) PIの進め方に関する意見	(20件)	
2) 調査報告書に関する意見	(53件)	
2. 空港計画に関する意見	22件	3.7%
1) 空港計画に期待する意見	(10件)	
2) 空港施設に関する意見	(7件)	
3) 空港配置に関する意見	(5件)	
3. 空港計画の妥当性に関する意見	384件	64.6%
1) 航空利用者の見込みを詳しく知りたいという意見	(18件)	
2) 費用便益分析結果を詳しく知りたいという意見	(20件)	
3) 航空路線の開設・維持に関する意見	(24件)	
4) 空港整備による効果を期待する意見	(71件)	
5) 空港建設の必要性を疑問視する意見	(77件)	
6) 空港建設は必要又は早期実現を要望する意見	(154件)	
7) 伊平屋・伊是名間の移動手段の整備が必要とする意見	(20件)	
4. 航空機騒音の影響に関する意見	2件	0.3%
1) 航空機騒音の影響の心配がないので、安心したという意見	(1件)	
2) 少しでもうるさくなるのは困るという意見	(1件)	
5. 自然環境への影響に関する意見	53件	8.9%
1) 自然環境への配慮を要望する意見	(43件)	
2) 自然環境を重視し空港建設に対して否定的な意見	(10件)	
6. その他	60件	10.1%
1) 航空サービスに対する要望に関する意見	(19件)	
2) 両村の人々の考え方を尊重する意見	(10件)	
3) その他	(31件)	
合計	594件	100%

(3) P I 活動の総合評価

- 「P I 実施計画書」の内容を上回るP I 活動の実施により、提供した情報（調査報告書2）は、主なP I 対象者である伊平屋、伊是名村民をはじめとする沖縄県居住者を中心に幅広く周知されました。
- また、アンケートの配布枚数3,499枚のうち、977名の方々から回答があり（回収率：28%）、そのうち445名から自由意見が得られました。寄せられた意見は594件の意見に分類整理することにより、P I 対象者の考え方を広く把握することができ、また、質問、提案、要望が書かれた意見に対しては対応策を示すことができました。
- 以上より、P I（ステップ2）の実施目標である「空港整備計画の妥当性等に係る情報を共有し、P I 対象者の考え方を把握できる状態に達すること」は、達成できたと考えます。

Ⅲ. P I 評価委員会

1. 開催状況

P I（ステップ2）の活動期間中に「伊平屋空港P I 評価委員会」を2回開催しました。

（1）第3回伊平屋空港P I 評価委員会の概要

1) 日 時 平成20年1月15日（火）13:30～15:30

2) 場 所 ホテルチュラ琉球 7階 会議室

3) 出席者

① 委員（順不同）

沖縄国際大学経済学部学部長 大城 保 （委員長）

琉球大学工学部環境建設工学科教授 堤 純一郎

フリージャーナリスト 崎山 律子

② 伊平屋空港協議会

沖縄県、伊平屋村、伊是名村

4) 議事内容とP I 評価委員会からの評価・助言

第3回伊平屋空港P I 評価委員会において、「P I（ステップ2）の情報提供及び意見収集方法」のほか、提供する情報をまとめたパンフレット「伊平屋空港の調査報告書2」や「伊平屋空港P Iに関するホームページ」について、以下のような評価・助言をいただきました。

① 伊平屋空港P I（ステップ2）情報提供及び意見収集方法（案）について

○周知・広報手段に関して、新聞、広報誌などの文字情報が手元に残る媒体も活用したほうが良い。

○提供する情報の理解を促すためには、地元説明会が重要である。地元説明会の前に、パネル展示を行うなど、参加者を増すためのPR活動を実施してほしい。

○伊平屋村、伊是名村の沖縄本島在住を対象とした説明会を実施してほしい。

② 伊平屋空港の調査報告書2（案）について

○伊平屋空港が伊平屋村と伊是名村の空港であることを表現してほしい。

○伊平屋－伊是名間の交通アクセスに対する考え方を記載したほうがよい。

○自然環境への影響について、空港候補地及びその周囲はゆたかな自然が残されており、貴重な動植物の生息がみられることを明記すべきではないか。

③ 伊平屋空港P Iに関するホームページ（案）について

○ホームページからの意見収集の方法について、現在提示している方法は煩わしいので簡単に意見を送信できるように工夫するべきである。

⇒P I（ステップ2）の実施については、上記の助言を踏まえ、実施しました。

(2) 第4回伊平屋空港P I 評価委員会の概要

1) 日 時 平成20年3月27日(木) 15:00~17:00

2) 場 所 サザンプラザ海邦 4階 会議室

3) 出席者

① 委員(順不同)

沖縄国際大学経済学部学部長 大城 保 (委員長)

琉球大学工学部環境建設工学科教授 堤 純一郎

フリージャーナリスト 崎山 律子

② 伊平屋空港協議会

沖縄県、伊平屋村、伊是名村

4) 議事内容とP I 評価委員会からの評価・助言

第4回伊平屋空港P I 評価委員会において、「P I (ステップ2)の実施結果」を報告し、P I 評価委員より「P I ステップ2のP I 活動結果は、第3回P I 評価委員会のP I 評価委員からの評価・助言が充分反映され丁寧な対応がなされている。また、伊平屋空港協議会がP I 実施結果に対して行った「4つの視点からの評価」や「総合評価」は概ね適切である」との評価をいただきました。

一方、今後の伊平屋空港に対する取組みについては、以下のような助言をいただきました。

○伊平屋村と伊是名村の間で「調査報告書 2」に対する理解度の差が出たことは良い結果として捉えることができる。理解度が比較的低い伊是名村に対しては、今後、丁寧な説明をしていく必要があり、対応策を考えてほしい。

○寄せられた意見について、具体的な意見については具体的な説明をして、今後とも、みなさんの疑問や意見を把握し説明できる体制を整えてほしい。

⇒上記の助言を踏まえ、伊平屋空港協議会ではP I 終了後の今後の取組みについて、その基本的な考え方を取りまとめました。(参照：V. 今後の取組みについて)

2. 伊平屋空港 P I 評価委員及び P I 評価委員会規約

(1) 伊平屋空港 P I 評価委員

P I 評価委員は、P I (ステップ1) より引き続き 3 名の委員の方々に就任していただきました。

氏名	備考
大 城 保	沖縄国際大学経済学部学部長 (委員長)
堤 純 一 郎	琉球大学工学部環境建設工学科教授
崎 山 律 子	フリージャーナリスト

(敬称略)

(2) P I 評価委員会規約

伊平屋空港 P I 評価委員会規約を以下に示す。

(設置)

第 1 条 伊平屋空港 P I 評価委員会 (以下「評価委員会」という。) は、伊平屋空港協議会 (以下「協議会」という。) が設置する。

(目的)

第 2 条 評価委員会は、協議会が行う伊平屋空港のパブリック・インボルブメント (以下「P I」という。) のプロセスや結果について評価、助言を行うことにより P I の透明性、公平性や公正性を確保することを目的とする。

(所掌事務)

第 3 条 評価委員会は、前条の目的を達成するために次の事項について評価、助言を行う。

- (1) P I 実施期間中の P I 活動に関すること
- (2) P I 実施結果に関すること

(構成)

第 4 条 評価委員会は、所掌事務の遂行に必要な有識者をもって構成し、委員の構成は別紙のとおりとする。

(第三者性)

第 5 条 委員は、評価委員会の目的に照らし、特定の行政機関および特定の利害関係者等の利害を代表してはならない。

(委員の任期)

第 6 条 委員の任期は、評価委員会の所掌事務が完了するまでとする。

(委員長)

第 7 条 評価委員会には、委員長を置く。

(評価委員会の運営)

第 8 条 評価委員会は、委員長が招集し開催する。

- 2 評価委員会は、協議会に対し評価委員会の運営に必要な資料の提出を求めることができる。
- 3 評価委員会は、必要に応じて委員以外の関係者の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第9条 委員は、個人を識別させる情報や個人の権利利益を害する恐れのある情報などを漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(委員会の公開)

第10条 評価委員会は、特段の理由がある場合を除き、原則として公開とする。

(事務局)

第11条 評価委員会の事務局は、沖縄県に置く。

(その他)

第12条 この規約に定めのない事項は、その都度審議して定める。

附 則

この規約は、平成18年6月26日より施行する。

IV. P I（ステップ2）の終了について

伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）の終了について

伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ2）は、伊平屋空港の整備の妥当性等に係る情報をP I対象者（伊平屋・伊是名村民、地元関係者等）と共有し、P I対象者の考え方を把握することを目標に活動を実施しました。

伊平屋空港協議会では、約4ヶ月間にわたるP I（ステップ2）の活動結果を以下のように評価し、第4回P I評価委員会に報告しました。

- 「P I実施計画書」の内容を上回るP I活動の実施により、提供した情報（調査報告書2）は、主なP I対象者である伊平屋、伊是名村民をはじめとする沖縄県居住者を中心に幅広く周知された。
- また、アンケートの配布枚数3,499枚のうち、977名の方々から回答があり（回収率：28%）、そのうち445名から自由意見が得られた。寄せられた意見は594件の意見に分類整理することにより、P I対象者の考え方を広く把握することができ、また、質問、提案、要望が書かれた意見に対しては対応方針を示した。
- 以上より、P I（ステップ2）の実施目標である「空港整備計画の妥当性等に係る情報を共有し、P I対象者の考え方を把握できる状態に達すること」は、達成できたと考える。

その結果、この評価は第4回伊平屋空港P I評価委員会において概ね妥当であると評価を頂き、これをうけて伊平屋空港協議会では、P I（ステップ2）の実施目標は達成できたと最終的に判断し、伊平屋空港のP Iステップ2を終了することに致しました。

平成20年5月21日
伊平屋空港協議会

V. 今後の取組みについて

伊平屋空港P Iを2カ年度に渡って実施しました。その結果、伊平屋空港の必要性や整備の妥当性等については、一般の人々に概ね理解されたと考えています。

一方、P I評価委員からの評価・助言にもあるように、P I活動を通じて、今後とも伊平屋村や伊是名村の人々と情報を共有することの重要性が明らかになりました。特に、伊是名村の人々に対しては、伊平屋空港が隣の島の空港ではなく自分達の空港として活用していただけるよう、今後とも丁寧な説明を継続していきたいと考えています。

沖縄県は、2年間にわたって実施した伊平屋空港P Iの結果を踏まえ、今後とも空港整備に向けた検討を継続することとしており、これから航空路線の開設や飛行方式の設定等の検討を行うとともに、環境影響評価の手続き等に取り組んでいく予定です。

そのため、P Iが終了した後も伊平屋空港P Iのホームページを残し、空港計画の進捗に応じた情報を随時更新することで、いつでも皆様が最新の情報を入手できる手段を用意します。空港計画の技術的な検討についても、出来るだけ情報を公開する予定です。

伊平屋空港は「伊平屋村」と「伊是名村」の「両村の空港」です。伊是名村の方々や伊是名村に来村するの方々にも利用しやすい空港になるよう、両村は「定期的な船舶航路」で結ぶ計画も進めています。伊平屋空港が開港すれば、島民生活の安定や離島振興などの様々な効果が期待されます。

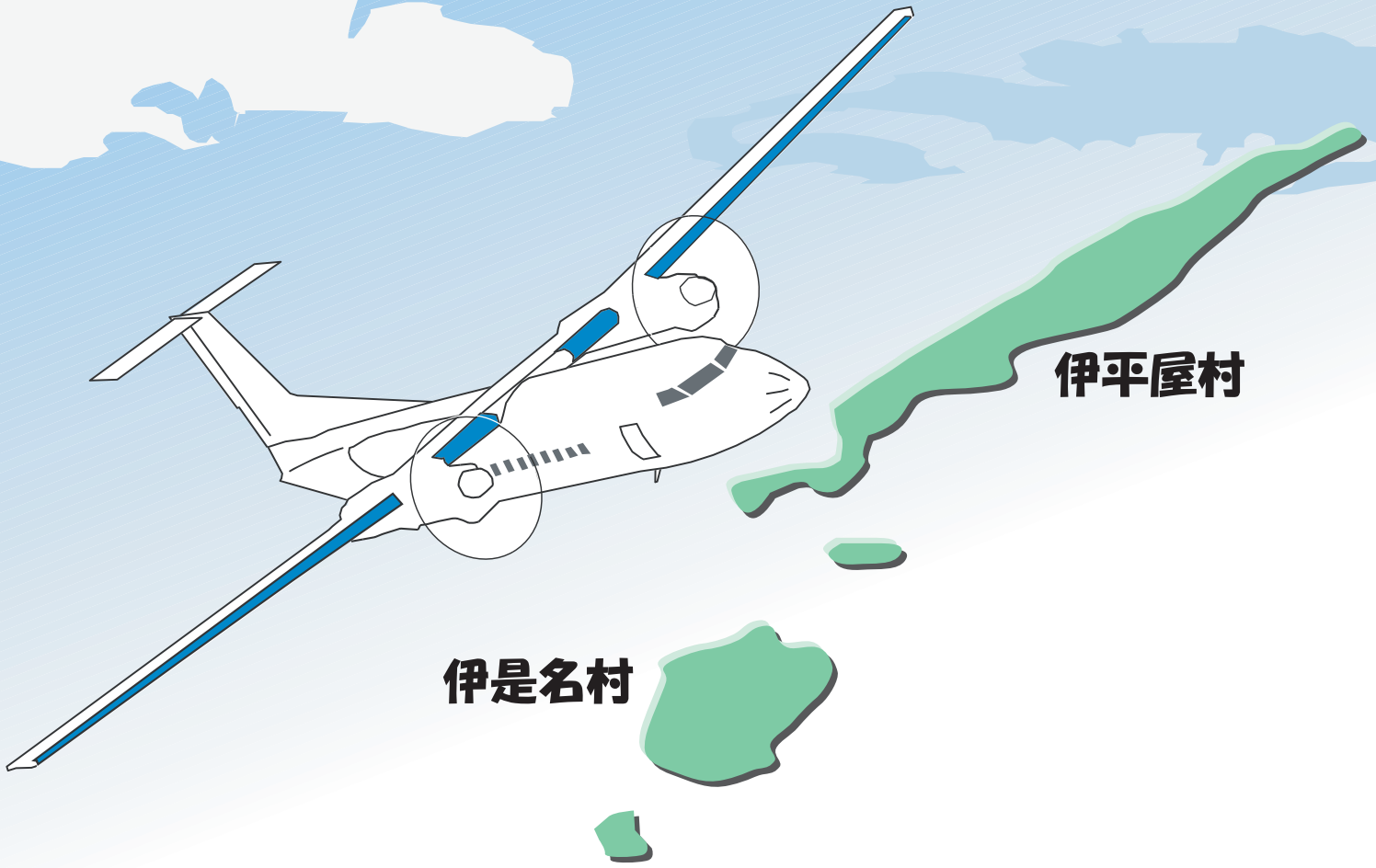
空港を開港させるためには両村民と地元行政が一体となった「継続した取組み」が重要と考えており、今後とも関係の皆さまのご理解、ご協力を賜りたいと考えています。

伊平屋空港協議会

参考資料

パンフレット「伊平屋空港の調査報告書 2」

伊平屋空港の調査報告書 2



みなさんの考えやご意見をお聞かせ下さい。



伊平屋空港協議会
【沖縄県・伊平屋村・伊是名村】

パブリック・インボルブメントとは
(public involvement)

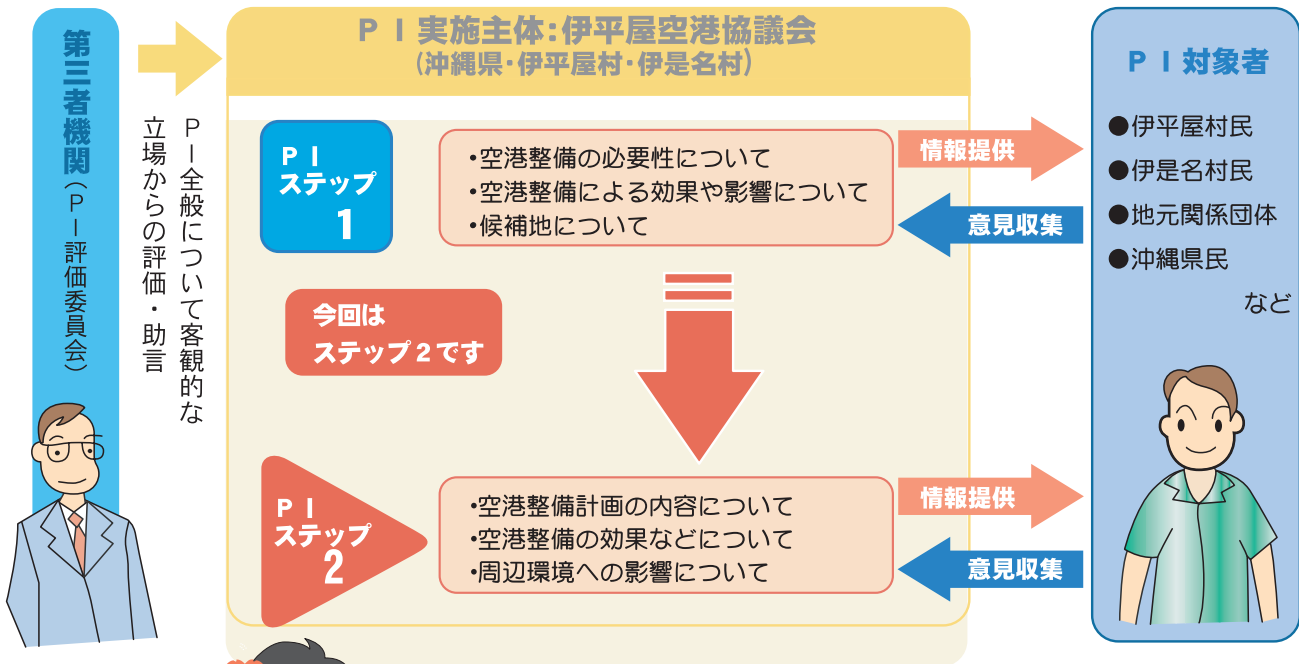
「市民参加」または「住民参画」と訳されます。
公共事業の施策を立案する過程で地元住民などから幅広く意見を募り、計画決定に活かしていく手法です。

PIはどのように進めるの？



伊平屋空港協議会（沖縄県・伊平屋村・伊是名村）では、伊平屋空港の整備にあたってパブリック・インボルブメント（PI）の手法を導入しています。計画の段階から積極的に情報を提供し、みなさんのご意見を伺いながら検討を進めています。平成18年度は、空港整備の必要性等について意見を伺うステップ1を実施しました。今年は、PIの最終段階としてステップ2を実施します。本報告書（伊平屋空港の調査報告書2）は、空港整備計画の内容やその妥当性等についてとりまとめたものです。

★伊平屋空港のPIの進め方



ステップ2は、伊平屋空港の計画に対して意見を言えるのね！

PIが終わった後も、開港に向けた検討があるんだね。

★PIが終わったら空港ができるの？

PIが終わってもすぐに空港ができるわけではありません。

- ①まず、PI（ステップ2）の終了後に、事業の実施主体である沖縄県は、PI（ステップ1及び2）の結果を踏まえて「伊平屋空港の整備に向けた検討を継続するか否か」を判断します。
- ②次に、現在の空港計画を事業化に向けて検討を行います。飛行方式の設定や航空路線の開設の可能性を検討し、伊平屋空港の整備事業が国の補助事業として採択される必要があります。
- ③その後、伊平屋空港が開港するまでには、航空法に基づく手続き等を経る必要があります。



PIの終了
(結果)

沖縄県が空港整備を進めるか否かを判断

空港計画を事業化に向けて検討

国が伊平屋空港の整備事業を評価・採択

航空法に基づく手続き
飛行場設置許可申請
公聴会等

設計・工事

開港

★伊平屋空港に必要な施設は？

航空機が離着陸するための滑走路、航空機に乗降するためのエプロン(駐機場)、搭乗手続きや送迎を行うための旅客ターミナルビルなどの施設を計画しています。



空港にはいろいろな役割をもった施設が必要なのね。

滑走路



写真：多良間空港

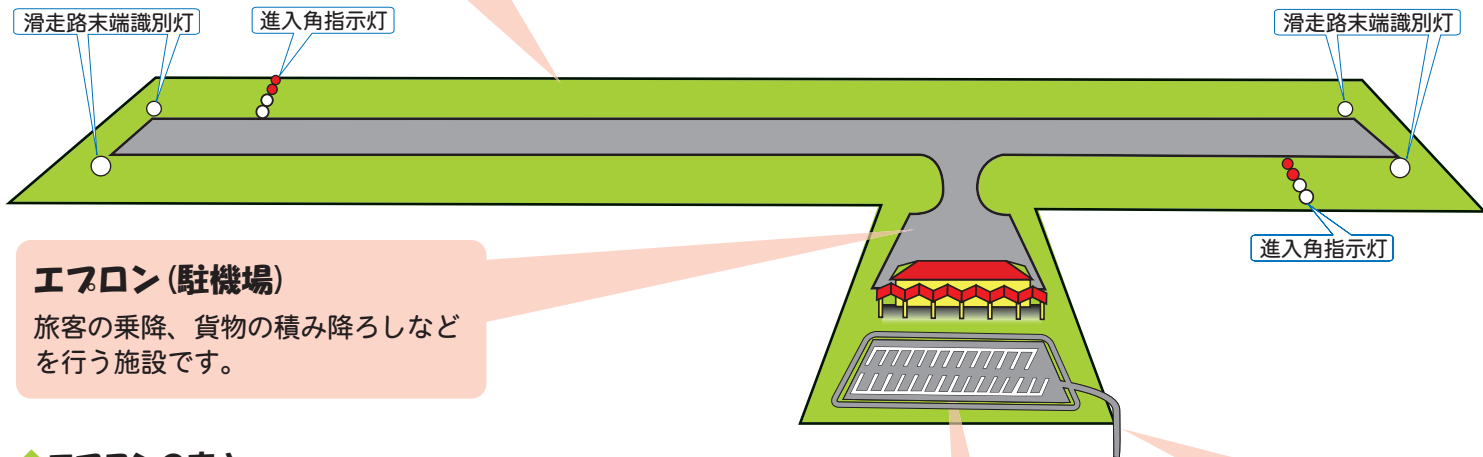
航空機が離着陸する施設です。

◆滑走路の長さ

滑走路の長さは、主に就航する航空機の種類によって決められます。伊平屋空港では、那覇空港と伊平屋空港を結ぶ路線にDHC-8型機の就航を想定しています。伊平屋空港の滑走路は、航空会社の意見も踏まえ、長さ1,180mを計画しています。

気象施設

航空機の離着陸が安全に行えるよう、風向・風速、雲高、視程(どの程度見えるか)などの気象条件を観測します。



エプロン(駐機場)

旅客の乗降、貨物の積み降ろしなどを行う施設です。

◆エプロンの広さ

エプロンの広さは、空港が最も混雑する時間帯に駐機する航空機の数と大きさによって決められます。伊平屋空港では、DHC-8型機が1日に2往復就航することを想定しており、2機同時に駐機できるように計画しています。

照明施設

飛行の安全性を高めます。主に着陸時にパイロットを援助します。

◆照明施設の役割

滑走路末端識別灯	進入角指示灯										
滑走路の始まる位置がわかります	白と赤の光の組み合わせで、着陸時の進入角が適切かどうかわかります。										
	<table border="0"> <tr> <td>○○○○</td> <td>高い</td> </tr> <tr> <td>○○○●</td> <td>少し高い</td> </tr> <tr> <td>○○●●</td> <td>適正</td> </tr> <tr> <td>○●●●</td> <td>少し低い</td> </tr> <tr> <td>●●●●</td> <td>低い</td> </tr> </table>	○○○○	高い	○○○●	少し高い	○○●●	適正	○●●●	少し低い	●●●●	低い
○○○○	高い										
○○○●	少し高い										
○○●●	適正										
○●●●	少し低い										
●●●●	低い										

アクセス道路

空港へのアクセスを便利にします。(至 野甫小中学校付近)

旅客ターミナル地域



写真：北大東空港

写真：南大東空港

搭乗手続きや送迎などを行いません。旅客ターミナルビル、駐車場のほか、消火救難施設、電源施設などの施設があります。

★ 空港の配置はどのように決まるの？

空港の配置は、一般的に飛行機の安全運航、周辺地域への影響、建設工事の規模、自然環境への影響など、様々な条件を総合的に検討して計画されます。

< 空港配置計画で考えること >

飛行機の安全運航を確保する点では…

年間の風向き、周辺の地形、利用可能な空域などを考慮して、航空機が安全に離着陸可能な滑走路の位置、方位、標高を検討します。

空港建設工事の規模と費用の点では…

周辺の地形の改変を出来るだけ少なくし、建設する費用が安くなるよう計画します。

周辺地域への影響に配慮する点については…

空港の設置には広大な土地を必要とします。空港の配置は、現在の人々のくらしや既存の文化財、現状の土地利用を充分配慮して計画します。その他、空港ターミナルの位置やアクセスは、利便性も踏まえて検討します。

自然環境への影響に配慮する点については…

空港の建設により、天然記念物などの貴重種が失われることのないよう、また、自然環境や景観にも配慮して計画します。

空港配置案の作成

空港の配置案を検討していくうえで、様々な検討条件があるなかで、一方を追求すると他方が犠牲になるような両立しえない関係になることがあります。例えば、「住宅地への騒音問題を回避するため空港を海上に整備することにしたが、そのために空港整備費用が大幅に高くなる。さらには、海上の自然環境への影響にも対処が必要になる。」といった問題がでてきます。空港配置案の作成は、様々な検討条件を総合的に判断して進められます。

空港配置案の決定！！

空港位置図



★ 伊平屋空港の配置はどのように計画したの？

空港候補地である野甫島は周囲約4.8kmの小さな島であり、長さ1,180mの滑走路の空港はとても大きな面積を占めます。空港の配置は、野甫島の地形、生活、文化、自然などへの影響を考慮して計画しています。

● 航空機の安全運航に配慮しました！

航空機は横風に弱く、向かい風を受けて飛ぶことが理想です。滑走路の方位は、候補地の風向き（北東）のほか、周辺の地形や構造物が離着陸の障害とならないよう、総合的に検討して計画しています。

● 島民の生活、島の文化財などに配慮しました！

空港の配置は、野甫集落に航空機騒音の影響が及ばないようにするとともに、島民の信仰の対象となっている拝所や文化財を損なわないように計画しています。

● 建設費が安くなるよう工夫しました！

地形の起伏を考慮し、滑走路の勾配や高さを調整して工事規模が小さくなるように工夫しました。例えば、削らなければならない場所から出た土を、埋立てなければならない場所にバランスよく使うなど、工事の量と費用が少なくなるように計画しています。

● 島の自然環境や景観に配慮しました！

島を取り囲むリーフや自然海浜を保全する観点から、空港は出来るだけ陸上に計画することにしました。また、島の中央部の丘陵地帯を残すことで、野甫島の景観が損なわれないように配慮しています。

様々な条件を総合的に判断して決めるのね！



空港用地は、必要な滑走路長や自然環境への影響を考慮したうえで、出来るだけ陸域に収めるように計画しました。

ターミナル地域は、地形の起伏のほか、伊平屋中心部や伊是名村からの船舶が到着する野甫港からの行きやすさを重視して計画しました。

空港用地は、島民の信仰のある拝所やウミガメの産卵も行われる自然海浜を保全できるように計画しました。

島の特徴を良く考えた計画になっているんだね！



※今後、計器進入・出発方式の設定に詳細な検討が必要です。



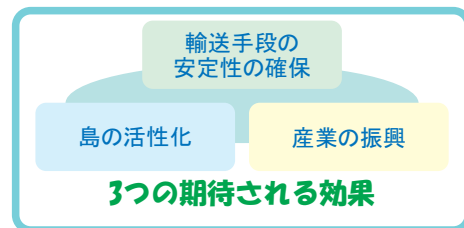
伊平屋村と伊是名村は、予約に応じて運航される渡し船で結ばれています。将来は両村を定期船で結ぶことを検討しており、また、その拠点となる野甫港や内花港の再整備を実施しています。

至伊是名村 (内花港)

空港計画の妥当性はあるのかな？

★期待される効果を確認してみました！

伊平屋空港の整備により期待される効果には、輸送手段の安定性の確保、島の活性化、産業の振興の3つがあげられます。空港計画を進めるにあたり、「整備による効果」と「整備したことによりかかる費用」を比べるために、費用便益分析を実施しました。



●費用便益分析とは・・・

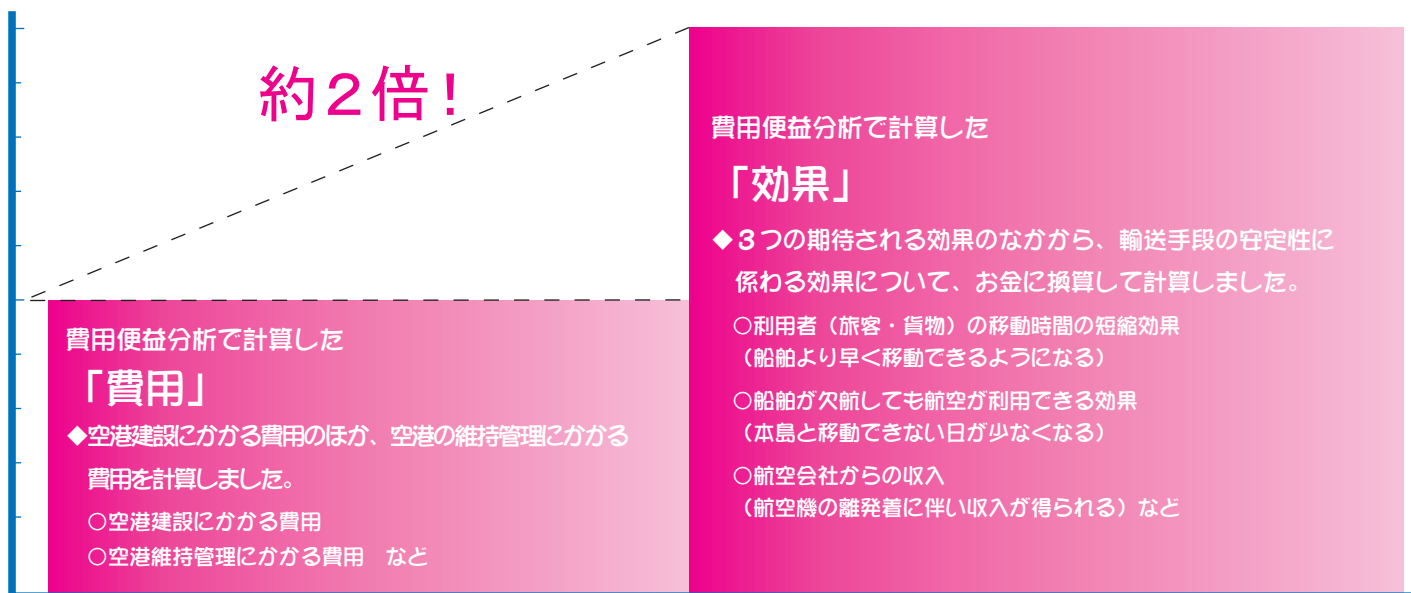
費用便益分析を簡単に言えば、ある事業を行なうのに必要な費用に対して、事業を実施したことによって得られる社会的な便益（効果）の大きさを見るものです。国や県が空港整備を検討する場合にも、費用便益分析の実施が求められるようになりました。事業の効果が費用を上回れば、その事業を実施する妥当性があると判断できます。費用便益分析の結果は、事業の実施を判断する一つの目安として用いられています。

「事業の効果」が「事業を実施したことでかかる費用」を上回れば、事業の妥当性があると判断できるんだね



●伊平屋空港の計画における費用便益分析の結果

伊平屋空港の整備による効果は、空港整備による費用のおよそ2倍と計算されました。



※今後、事業費の精査等により、分析結果に変化が生じる可能性があります。

★那覇－伊平屋路線開設に向けて航空会社と調整を進めています！

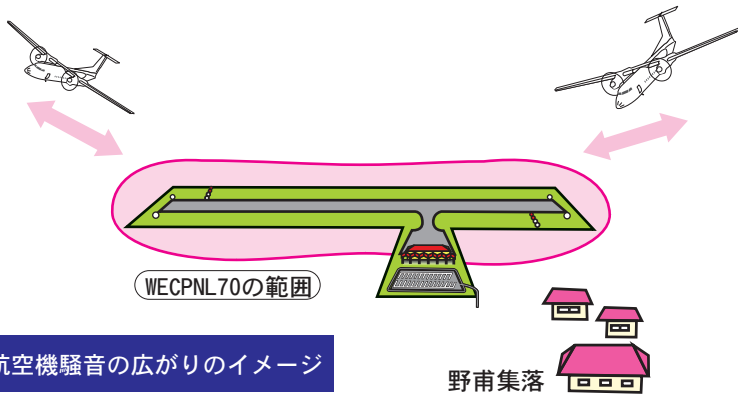
伊平屋空港は、伊平屋村と伊是名村の村民が、将来にわたり安心して島で暮らせるための社会基盤と考えています。一方、航空会社の意見によると、伊平屋路線の開設にあたり、採算性の面からは充分な需要が必要だとしています。伊平屋路線の開設・維持には、両村民の積極的な利用のほか、観光などで島を訪れる利用者を増やすための地元の取組みも重要になります。

伊平屋路線の開設・維持は、お客さんの数が大きく影響するのね！



★騒音の影響は大丈夫？

伊平屋空港の航空機騒音の広がりを検討した結果では、航空機騒音による日常生活への影響はないと考えられます。また、就航機材(想定)のDHC-8型機は、客室内や外部への騒音が少ない航空機として知られています。



航空機騒音の広がりのイメージ

※滑走路の両方向に同じ割合で離着陸した場合

●航空機騒音の影響予測について

伊平屋空港の航空機騒音の範囲（WECPNL70）を、DHC-8型機が1日に2往復することを想定して予測しました。航空機騒音の範囲は、空港用地から僅かに広がる程度であり、野甫集落には及びません。

※航空機騒音の影響は、WECPNL（加重等価平均感覚騒音レベル）という指標を用いて検討されます。国の航空機騒音に係る環境基準では、住居地域における航空機騒音はWECPNL70以下とすることが目標とされています。

特に自然環境への影響は、
十分に検討する必要がありますが
ありそうだね。



★今あるもので失われるものはないの？

空港の計画用地には島を周回する道路の一部が含まれますが、伊平屋村とも協議のうえ、新たな代替道路を整備するなど、島の生活に影響がないようにします。

その他、空港の計画用地には、拝所（井戸）や文化財包蔵地の一部が含まれています。伊平屋村や関係機関との協議により、移設も含めた対応を検討します。

★自然環境への影響は？

野甫島には豊かな自然が残されており、候補地周辺で行った自然環境調査においても貴重な動植物が確認されています。

今後、環境アセスメントの実施により、空港建設が自然環境に与える影響や保全対策について詳細に検討します。



空港イメージ図

●主な貴重な動植物

野甫島で見つかった主な貴重種

◆陸域植物

ハリツルマサキ※
リュウキュウクロウメモドキ※
ハイシバ※、エダウチャガラ

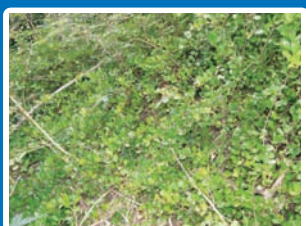
◆陸域動物

オリイオコウモリ（哺乳類）
ミサゴ※、ハヤブサ※、シロチドリ（鳥類）
ナキオカヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ
オカヤドカリ（甲殻類）

◆サンゴ類・潮間帯生物等

ムカシサンゴ、シコロサンゴ
エダコモンサンゴ

※環境省レッドデータブックに
記載されている貴重な動植物



ハリツルマサキ



ムラサキオカヤドカリ



エダコモンサンゴ

(写真提供：(財)沖縄県環境科学センター)

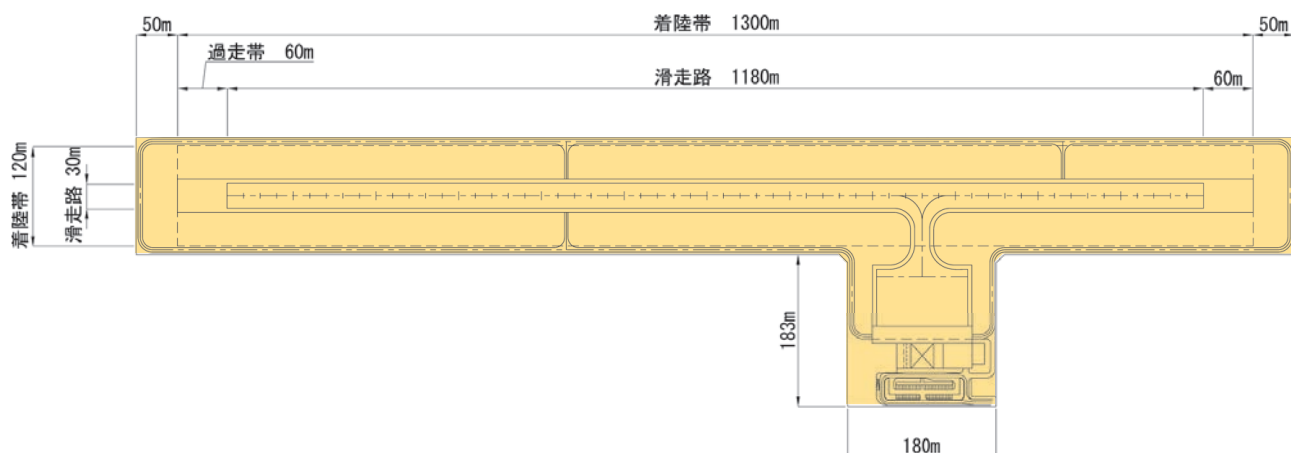


空港整備計画の概要

★ 計画概要

伊平屋空港は、那覇－伊平屋路線に就航する機材を DHC-8型機(39人乗り)と想定して計画しています。

空港平面図



DHC-8型機(39人乗り)

区分	計画概要
着陸帯	長さ 1,300m×幅 120 m
滑走路	長さ 1,180m×幅 30 m
過走帯	長さ 60m×幅 30m(滑走路両端部)
誘導路	長さ 73m×幅 18 m
エプロン	奥行 70m×幅 110 m(2 バース)
ターミナルビル	延床面積 900 m ²
駐車場	40 台
照明施設	進入角指示灯(PAPI) 滑走路末端識別灯(RTHIL)
就航機材(想定)	DHC-8型機(39人乗り)



みなさんのご意見をお待ちしております。

詳細は、添付のご意見記入用紙をご覧ください。



お問い合わせ先

伊平屋空港協議会 (事務局 沖縄県土木建築部空港課)

沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 TEL 098-866-2400 FAX 098-869-6279

ホームページ <http://www.pref.okinawa.jp/airport/index/>

メールアドレス aa063002@pref.okinawa.lg.jp

沖縄県伊平屋村役場：土木空港課 TEL 0980-46-2176 FAX 0980-46-2606

ホームページ <http://www.vill.iheya.okinawa.jp/>

沖縄県伊是名役場：建設環境課 TEL 0980-45-2004 FAX 0980-45-2144

ホームページ <http://www.izena-okinawa.jp/>

参考資料



写真で見るP I 活動の記録

(1) 周知・広報

1) 行政広報誌への記事掲載

<p>掲載広報誌</p> <p>広報いへや (No.290 2月号)</p> <p>掲載広告</p>	 <p>伊平屋空港のパブリック・インボルブメント (PI) 伊平屋空港の整備に関するご意見を募集しています</p> <p>空港整備は伊平屋村、伊豆名村の両市で進めて実地するべき重要な課題です。両市は国土交通省からの指導等に 対し空港整備に向けた調整活動を行ってまいりました。また、両市は整備における生活利便性の向上と観光や産業振興 の観点から、両市間の空港整備の検討を行ってまいりましたが、それまでの経緯や両市との話し合いにより、伊平 屋村が整備の候補地として検討を進めることとなりました。</p> <p>伊平屋空港整備推進協議会「伊平屋村」伊豆名村では、伊平屋空港の整備にあたってパブリック・インボルブメント (PI)手法を導入し、計画段階から両市住民を中心とする関係者の内々に情報や情報を提供し、皆様のご意見を伺 いながら検討を進めてまいります。</p> <p>まず、これから提供していく伊平屋空港の整備に関する情報について、皆様のご意見を伺っていきます。 平成20年度は、空港整備の必要性等について意見を伺うPIステップ1を実施しました。今年度は、PIの最終階 段としてPIステップ2を実施します。</p> <p>情報のご提供、ご意見募集は2月1日より開始しています</p> <p>ご提供する情報の内容 (PIステップ2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>提供情報の項目</th> <th>提供情報の内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空港整備計画の内 容について</td> <td>伊平屋空港はどのような空港になるのか、空港の配置はどのように決められたのか、な どに関する情報を提供します。</td> </tr> <tr> <td>空港整備の効果な どについて</td> <td>伊平屋―那覇路線の就航の見通しはあるのか、空港整備による費用対効果は得られる のかなど、空港整備の妥当性を判断する上で必要な情報を提供します。</td> </tr> <tr> <td>周辺環境への影響 について</td> <td>空港が整備されることで航空機騒音の影響はないのか、空港整備で失われるものはな いのか、自然環境への影響はないのか、などに関する情報を提供します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>情報のご提供とご意見募集の方法</p> <p>ご提供する情報の内容について記載したパンフレットを皆様にお配りします。また、これらの資料は伊平屋村、伊 豆名村の役場等にも購入できますのでご自由に入手頂けます。お手元に残った資料をお読みいただき、その内容に關 するご意見を資料に添付する封筒用ハガキにご記入ください。ご記入いただいたハガキは、両市に設置している専用の ご意見箱へ送付するの事でお願いします。</p> <p>また、伊平屋村、伊豆名村役場のホームページからアクセスいただけます。伊平屋空港ホームページからもご意見を 募集しています。</p> <p>その他の差し</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地元観光協会の開催 情報のご提供とご意見募集期間中に、伊平屋、伊豆名村の 両市で実施する予定に於いて、ご提供する情報の内容に關 する説明会を開催します。 ◆ パネル展覧 村広場やセンター3号館でのパネル展なども予定してい ますので、是非、ご覧ください。 <p>伊平屋村の建設は 場 所：伊平屋村産業展示センター 開催日：2月21日(水) 午後7時開始</p> <p>伊平屋空港協議会 【伊平屋、伊豆名村】</p> <p>パブリック・インボルブメントとは (Public Involvement) 「市民参加」とは行政現場に於ける、 公共事業の企画や立案する過程で市民や民 ごから幅広く意見を募り、計画決定に活かし ていく手法です。</p>	提供情報の項目	提供情報の内容等	空港整備計画の内 容について	伊平屋空港はどのような空港になるのか、空港の配置はどのように決められたのか、な どに関する情報を提供します。	空港整備の効果な どについて	伊平屋―那覇路線の就航の見通しはあるのか、空港整備による費用対効果は得られる のかなど、空港整備の妥当性を判断する上で必要な情報を提供します。	周辺環境への影響 について	空港が整備されることで航空機騒音の影響はないのか、空港整備で失われるものはな いのか、自然環境への影響はないのか、などに関する情報を提供します。
提供情報の項目	提供情報の内容等								
空港整備計画の内 容について	伊平屋空港はどのような空港になるのか、空港の配置はどのように決められたのか、な どに関する情報を提供します。								
空港整備の効果な どについて	伊平屋―那覇路線の就航の見通しはあるのか、空港整備による費用対効果は得られる のかなど、空港整備の妥当性を判断する上で必要な情報を提供します。								
周辺環境への影響 について	空港が整備されることで航空機騒音の影響はないのか、空港整備で失われるものはな いのか、自然環境への影響はないのか、などに関する情報を提供します。								
<p>掲載広報誌</p> <p>広報誌いげな (No.445 2月号)</p> <p>掲載広告</p>	 <p>伊平屋空港のパブリック・インボルブメント (PI) 伊平屋空港の整備に関するご意見を募集しています</p> <p>情報のご提供、ご意見募集は2月1日より開始しています</p> <p>ご提供する情報の内容 (PIステップ2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>提供情報の項目</th> <th>提供情報の内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空港整備計画の内 容について</td> <td>伊平屋空港はどのような空港になるのか、空港の配置はどのように決められたのか、な どに関する情報を提供します。</td> </tr> <tr> <td>空港整備の効果な どについて</td> <td>伊平屋―那覇路線の就航の見通しはあるのか、空港整備による費用対効果は得られる のかなど、空港整備の妥当性を判断する上で必要な情報を提供します。</td> </tr> <tr> <td>周辺環境への影響 について</td> <td>空港が整備されることで航空機騒音の影響はないのか、空港整備で失われるものはな いのか、自然環境への影響はないのか、などに関する情報を提供します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>情報のご提供とご意見募集の方法</p> <p>ご提供する情報の内容について記載したパンフレットを皆様にお配りします。また、これらの資料は伊平 屋村、伊豆名村の役場等にも購入できますのでご自由に入手頂けます。お手元に残った資料をお読みいただき、その内容に關 するご意見を資料に添付する封筒用ハガキにご記入ください。ご記入いただいたハガキは、各 所に設置している専用のご意見箱へ送付するの事でお願いします。</p> <p>また、伊平屋村、伊豆名村役場のホームページからアクセスいただけます。伊平屋空港ホームページからもご意見 を募集しています。</p>	提供情報の項目	提供情報の内容等	空港整備計画の内 容について	伊平屋空港はどのような空港になるのか、空港の配置はどのように決められたのか、な どに関する情報を提供します。	空港整備の効果な どについて	伊平屋―那覇路線の就航の見通しはあるのか、空港整備による費用対効果は得られる のかなど、空港整備の妥当性を判断する上で必要な情報を提供します。	周辺環境への影響 について	空港が整備されることで航空機騒音の影響はないのか、空港整備で失われるものはな いのか、自然環境への影響はないのか、などに関する情報を提供します。
提供情報の項目	提供情報の内容等								
空港整備計画の内 容について	伊平屋空港はどのような空港になるのか、空港の配置はどのように決められたのか、な どに関する情報を提供します。								
空港整備の効果な どについて	伊平屋―那覇路線の就航の見通しはあるのか、空港整備による費用対効果は得られる のかなど、空港整備の妥当性を判断する上で必要な情報を提供します。								
周辺環境への影響 について	空港が整備されることで航空機騒音の影響はないのか、空港整備で失われるものはな いのか、自然環境への影響はないのか、などに関する情報を提供します。								

2) 新聞記事への情報掲載

<p>掲載新聞</p> <p>掲載日</p>	<p>沖縄タイムス インフォプラザ</p> <p>1月25日(金)</p>
<p>掲載内容</p>	 <p>◆伊平屋空港についての意見 内容＝伊平屋空港の整備計画の内容やその妥当性など。応募方法＝2月から県庁、伊平屋村および伊是名村などに配布する「伊平屋空港の調査報告書」に添付している専用はがき、または県空港課・伊平屋村・伊是名村ホームページにて。☎(866)2400 県土木建築部空港課</p>
<p>掲載新聞</p>	<p>琉球新報 いきいき遊らんど くらし&情報ガイド</p>
<p>掲載日</p>	<p>1月30日(水)</p>
<p>掲載内容</p>	 <p>◆伊平屋空港についての意見募集～パブリック・インボルメント(ステップ2)～ 2月1日から1カ月間、伊平屋空港の整備計画の内容やその妥当性等について取りまとめた「伊平屋空港の調査報告書2」を県庁、伊平屋村および伊是名村などで配布する。専用のはがきや県空港課、伊平屋村および伊是名村ホームページから考えや意見をお寄せください。☎098(866)2400 県土木建築部空港課(前武富)</p>

週刊 沖縄建設新聞 2008年(平成20年)2月6日(水)第2366号 (2)

伊平屋空港P1ステップ2を実施

伊平屋空港協議会

空港整備効果など情報提供

結果踏まえ、整備の検討を判断

伊平屋島の空港整備は、これまで協議会が協議してきたように、P1ステップ1の完成により、島の交通インフラが大幅に改善され、島の観光・産業の発展に大きく貢献している。協議会は、P1ステップ2の実施について、島の現状と今後の展望を踏まえ、整備の検討を判断する。P1ステップ2は、島の交通インフラをさらに強化し、島の観光・産業の発展に大きく貢献する。協議会は、P1ステップ2の実施について、島の現状と今後の展望を踏まえ、整備の検討を判断する。



伊平屋空港のイメージ図

新都心牧志線を3月末から供用開始

慢性的な渋滞緩和解消と期待 全体事業費は約95億4千万円

新都心地区の交通インフラを強化し、島の観光・産業の発展に大きく貢献する。新都心地区の交通インフラを強化し、島の観光・産業の発展に大きく貢献する。新都心地区の交通インフラを強化し、島の観光・産業の発展に大きく貢献する。



供用開始に向けて整備の進む新都心牧志線



新都心牧志線の完成予想図

那覇市 役所仮庁舎設計に10社指名

9,000㎡規模で来年5月頃移転

那覇市の役所仮庁舎の設計に10社が指名された。9,000㎡規模で来年5月頃移転する。那覇市の役所仮庁舎の設計に10社が指名された。9,000㎡規模で来年5月頃移転する。

県土木建築部 指定管理者を募集

宇堅ビーチとあざまサンサンビーチ

県土木建築部が指定管理者を募集する。宇堅ビーチとあざまサンサンビーチの指定管理者を募集する。県土木建築部が指定管理者を募集する。宇堅ビーチとあざまサンサンビーチの指定管理者を募集する。

優良建設業者・技術者を表彰

首里部長「優秀な成績で完成と評価」

県知事表彰の優良建設業者・技術者を表彰する。首里部長は「優秀な成績で完成と評価」と述べた。県知事表彰の優良建設業者・技術者を表彰する。首里部長は「優秀な成績で完成と評価」と述べた。

2社を県土木建築部長表彰

末部門(三和)と、電業部門(東洋電気工事)

県土木建築部長が2社を表彰する。末部門(三和)と、電業部門(東洋電気工事)の2社を表彰する。県土木建築部長が2社を表彰する。末部門(三和)と、電業部門(東洋電気工事)の2社を表彰する。

掲載新聞 沖縄タイムス インフォプラザ

掲載日 2月22日(金)

掲載内容

◆伊平屋空港についての説明会
～パブリック・インボルプメント
(ステップ2) 27日19時。浦添
宜野湾漁業共同組合研修セン
ター。内容＝『伊平屋空港の調査報
告書2』の内容についての説明
会。本島在住の伊平屋村人会お
よび伊是名村郷友会の人対象。☎
(866)2400 県土木建築部空港課
(伊平屋空港協議会事務局)

掲載新聞 琉球新報 いきいき遊らんど 暮らし&情報ガイド

掲載日 2月27日(水)

掲載内容

◆伊平屋空港についての説明
会〜パブリック・インボルプメ
ント(ステップ2)〜(浦添宜
野湾漁業共同組合研修セン
ター) 27日(水)19時。☎098(86
6)2400 県土木建築部空港課
(前武當)

3) テレビ放送

放送番組	「うまんちゅひろば」
放送期間	2月23日～24日
放送内容	

4) ラジオ放送

放送番組	「ラジオ県民室」
放送期間	2月18日～22日
放送内容	<p>ラジオ県民室放送原稿(2月18日～2月22日放送分)</p> <p>【1】(イベント)合同企業説明会「適職フェア」 【2】(イベント)IT・コールセンターフォーラム及び情報産業企業合同説明会・面接会 【3】(イベント)第25回 外国人による日本語弁論大会 【4】(募集)県有地一般競争入札 【5】(募集)沖縄県自然環境保全審議会委員の公募 【6】(募集)沖縄県国土利用計画審議会委員の公募 【7】(募集)沖縄振興計画第3次分野別計画(案)に対する意見募集 【8】(募集)伊平屋空港のパブリック・インボルブメント(ステップ2) 【9】(募集)海外県系人子弟を受け入れるホストファミリー募集 【10】(募集)平成20年度内閣府青年国際交流事業参加青年募集 【11】(お知らせ)平成20年緑の募金 【12】(お知らせ)住民税における住宅ローン控除のお知らせ 【13】(お知らせ)北部・宮古・八重山福祉保健所のHIV抗体即日検査日の拡大及び一般健康診断業務の終了 【14】(お知らせ)戦没者等の遺族に対する特別弔慰金について 【15】(お知らせ)中城湾港マリンタウン住宅用地分譲</p> <p>【8】(募集)伊平屋空港のパブリック・インボルブメント(ステップ2)</p> <p>伊平屋空港に関するご意見募集のお知らせです。 県では、伊平屋空港の整備計画の内容やその妥当性等について広く県民の皆様からご意見を伺うため、伊平屋空港のパブリック・インボルブメントステップ2を実施しています。募集締切は2月29日(金)です。詳しくは、県空港課098(866)2400又はホームページをご覧ください。【先頭へ】</p>

5) ポスター掲示

<p>掲示期間</p>	<p>1月21日（PR活動開始）～2月29日（意見募集終了）</p>
<p>掲示場所 & 掲示内容</p>	<p>○伊平屋村、伊是名村役場 ○沖縄県庁 ○那覇市、名護市、浦添市等の各役所 ○那覇空港、離島空港 ○運天港（伊平屋発券所・伊是名発券所） ○前泊港（伊平屋村）ターミナル ○仲田港（伊是名村）ターミナル ○フェリー（運天ー前泊、運天ー仲田） ○伊平屋村、伊是名村関係団体 等</p>  <p>The poster is titled 'ステップ2 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント' (Step 2 Iriomote Airport Public Participation). It features a map of the Iriomote Island area with labels for '伊平屋村' (Iriomote Village), '伊是名村' (Iseya Village), and '沖縄本島' (Okinawa Main Island). The text includes: '伊平屋空港の調査報告書2を2月1日(金)より配布します' (We will distribute the Iriomote Airport Survey Report 2 from Feb 1st (Fri)). '未来へテイクオフ!!' (Take off into the future!!). 'みなさんの考えや意見をお聞かせ下さい。' (Please let us hear your thoughts and opinions). 'みんなでがんばろう!' (Let's all do our best!). It also lists dates for public opinion collection (Feb 1st to Feb 29th) and a schedule for a public meeting (Feb 20th and 21st). Contact information for the Iriomote Airport Association is provided at the bottom.</p>
<p>掲示風景</p>	 <p>A collage of six photographs showing the posters displayed at various locations. The photos are labeled as follows: 'フェリー伊平屋' (Ferry Iriomote), 'ニュー伊是名' (New Iseya), '伊是名村役場' (Iseya Village Office), '運天港(伊平屋発見所)' (Utena Port (Iriomote Ticket Office)), '運天港(伊是名発見所)' (Utena Port (Iseya Ticket Office)), and '前泊港' (Maebiki Port).</p>

6) ホームページへの情報掲載

<p>掲示期間</p>	<p>1月21日（PR活動開始）～</p>
<p>リンク場所</p>	<p>○沖縄県土木建築部空港課ホームページ ○伊平屋村ホームページ ○伊是名村ホームページ</p>
<p>掲示内容</p>	 <p>伊平屋空港に関するPI ホームページ</p> <p>伊平屋空港協議会 [沖縄県・伊平屋村・伊是名村]</p> <p>HOME</p> <p>伊平屋空港の調査報告書2</p> <p>ご意見募集 みんなの考えやご意見</p> <p>はじめに</p> <p>伊平屋空港の整備について</p> <p>伊平屋空港のPIの進め方</p> <p>PI (ステップ2) の実施について</p> <p>PI (ステップ2) で寄せられたご意見と対応</p> <p>PI (ステップ2) の終了について</p> <p>PI (ステップ2) の実施記録</p> <p>PI (ステップ1) のページ</p> <p>伊平屋空港PI評価委員会</p> <p>お問い合わせ</p> <p>伊平屋空港PIとは パブリック・インボルブメントとは パブリック・インボルブメント (Public Involvement) とは「市民参画」または「住民参画」と訳されます。公共事業の施策を立案する過程で地元住民などから幅広くご意見を募り、計画決定に活かしていく手法です。</p> <p>伊平屋空港の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊平屋空港の必要性 これまでの主な経緯 計画概要 <p>伊平屋空港のPIの進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> パブリック・インボルブメント(PI)とは PIの目的 PIを行う意義 PIの進め方 <p>PI (ステップ2) の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> PI (ステップ2) の位置づけ 実施スケジュール PI (ステップ2) で提供する情報 情報の入手方法 ご意見をお寄せいただく方法 <p>PI (ステップ2) で寄せられたご意見と対応</p> <p>PI (ステップ2) の終了について</p> <p>PI (ステップ2) の実施記録</p> <p>伊平屋空港PI評価委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回伊平屋空港PI評価委員会 第2回伊平屋空港PI評価委員会 第3回伊平屋空港PI評価委員会 <p>このページのトップへ</p> <p>お問い合わせ先</p> <p>伊平屋空港協議会 (事務局: 沖縄県土木建築部空港課) 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 TEL:098-866-2400 FAX:098-866-6279 ホームページ: http://www.pref.okinawa.jp/airport/index/ メールアドレス: aa063002@pref.okinawa.jp</p> <p>沖縄県伊平屋村役場: 土木空港課 TEL:0980-46-2176 FAX:098-46-2606 ホームページ: http://www.viii.lheya.okinawa.jp/</p> <p>沖縄県伊是名村役場: 建設環境課 TEL:0980-45-2004 FAX:098-45-2144 ホームページ: http://www.izena-okinawa.jp/</p>

(2) 情報提供・意見収集

1) 調査報告書2の配布

<p>配布期間</p>	<p>1月21日（PR活動開始）～2月29日（意見募集終了）</p>
<p>掲示場所 & 掲示内容</p>	<p>○伊平屋村役場、伊是名村役場 ○沖縄県庁 ○那覇市、名護市、浦添市等の各役所 ○那覇空港、離島空港 ○伊平屋、伊是名村の各世帯 ○地元説明会 ○地元関係団体 ○伊平屋村、伊是名村関係団体 等</p> 
<p>掲示風景</p>	

2) パネル展

開催日時	開催場所	開催風景
平成 20 年 2 月 18 日 (月) ～2 月 29 日 (金)	○運天港ターミナル (伊平屋・伊是名発券所) ○前泊港ターミナル ○仲田港ターミナル	
平成 20 年 2 月 18 日 (月) ～2 月 29 日 (金)	沖縄県庁 10 階空港課	
平成 20 年 2 月 25 日 (月) ～2 月 29 日 (金)	沖縄県庁 1 階県民ホール	

3) 説明会

開催日時	開催場所	参加人数	開催風景
平成 20 年 2 月 20 日 (水) 午後 3 時 10 分より	伊平屋中学校 (対象者: 伊平屋中学校、野甫 小中学校に通う中学生)	72 名	
平成 20 年 2 月 20 日 (水) 午後 7 時 00 分より	伊平屋村離島振興総合 センター (対象者: 伊平屋村民)	74 名	
平成 20 年 2 月 21 日 (木) 午後 7 時 00 分より	伊是名村産業支援 センター (対象者: 伊是名村民)	19 名	
平成 20 年 2 月 27 日 (水) 午後 7 時 00 分より	浦添宜野湾漁業協同組合 研修センター (対象者: 沖縄本島在住の伊平 屋村人会、伊是名村郷友会)	59 名	